

KIHO

広報きほう

Public Relations Kiho 2011 vol.71

12月号

特集

台風 12 号の教訓を活かすため 後世へとつなぐ記録

2011. 8.30 ~ 9.5

台風 12 号の驚異的な豪雨の影響により、熊野川が氾濫し国道 42 号が浸水。成川地区では、一部堤防が隠れるほど水位が上昇し、国道と川とが区別できなくなる。

(写真提供：紀南河川国道事務所 9月4日 6時6分撮影)



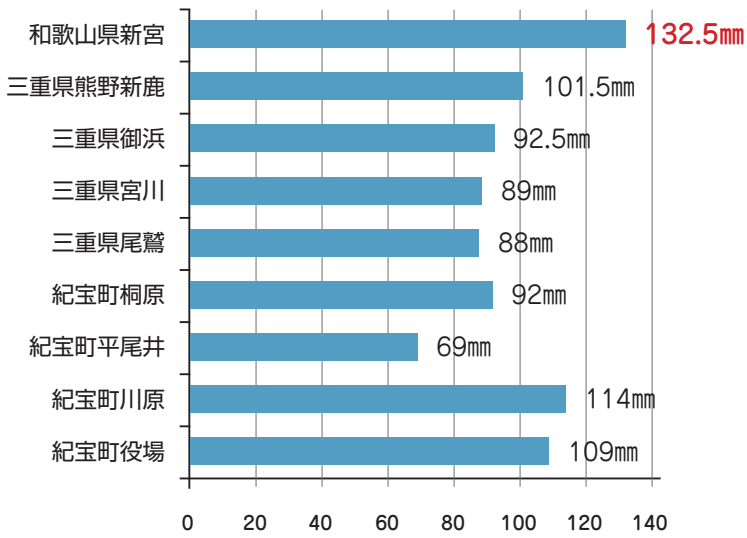
後世に伝えなければならない記録

8月30日から9月5日にかけて紀伊半島を襲い、猛烈な雨を降らせた台風12号。その雨量は、私たちの想像をはるかに超えるものとなり、多くの市町村に甚大な被害をもたらしました。今回学んだ教訓を、風化させず最大限に活かすためにも、この事実とデータを後世に伝えていかなければなりません。

台風 12 号対応の経過（概要）

8月31日（水）	
17：15	紀宝町に波浪警報が発令
9月2日（金）	
12：50	大雨・暴風警報が紀宝町に発令。災害対策本部設置
14：19	紀宝町に洪水警報が発令
15：00	県道紀宝川瀬線（高岡～大里間）が冠水により通行止め
15：41	高岡第1 陸間（りっこう）が全閉。全閉に伴い町道相野口永田線の一部を通行止め
17：00	高岡地区向清水団地に避難勧告を発令
21：10	大里陸間を全閉
22：50	大里地区と浅里地区に土砂災害注意情報が発令
23：35	高岡第2 陸間を全閉
9月3日（土）	
0：42	弁慶橋陸間（鮎田）を全閉
1：00	大里（深田）地区に避難勧告
2：40	大里（津本）地区、鮎田、成川（下地、中村、上地）地区、鵜殿（2・3組）地区に避難勧告を発令
3：25	消防団全分団を招集
5：00	高岡（向清水団地・清水畑）、大里（津本）、鮎田全域に避難指示を発令
5：45	高岡全域と大里（永田・津本・大里西・大里東）に避難指示を発令
6：30	県道鵜殿熊野線の一部（岡下商店～倉本橋）が通行止め
8：45	避難勧告が発令されていた成川（上地・中村・下地）、鵜殿（2組・3組）の地域に避難指示を発令 紀宝町に発令されていた暴風警報が解除され、強風注意報が発表。大雨・洪水・波浪警報については引き続き発令中
16：36	高岡地区、相野谷川の水位が 9.42 m となり輪中堤の天端高である 9.4 m に到達
16：50	紀宝町に土砂災害警戒情報が発令
17：00	鮎田、高岡、大里地区に水位情報と避難指示について防災無線にて再周知。高岡水位：9.4 m 超え（輪中堤に水が入ってきている箇所がある）
17：10	
18：39	鵜殿地区全域に避難指示を発令
19：45	国道 42 号線（矢洸中学校前～新宮市速玉大社前交差点）が通行止め
9月4日（日）	
3：00	成川（飯盛一部）、神内（一部）に避難指示を発令
4：00	自衛隊に災害派遣要請
10：15	自衛隊 4 中隊役場到着・活動開始
12：32	紀宝町に発令されていた波浪警報が解除
14：50	町内の水道が断水
16：00	災害救助法適用
22：00	国道 42 号線（矢洸中学校前～新宮市速玉大社前交差点）の通行止めが解除
23：30	町、自衛隊、警察、消防で今後の対応について 4 者会議
9月5日（月）	
5：32	紀宝町に発令されていた洪水警報が解除。引き続き、紀宝町に大雨警報、洪水注意報、雷注意報が発令中
9：19	紀宝町に発令されていた大雨警報が解除され、大雨注意報が発令
17：00	避難指示から避難勧告へ（高岡・鮎田・大里）避難指示解除（成川・神内一部・鵜殿）
9月7日（水）	
14：30	避難勧告解除（高岡・鮎田・大里）

紀宝町周辺の 1 時間降水量（最大値）



紀伊半島を襲った過去の水害

紀伊半島は、過去何度も大きな台風に襲われ、その度に甚大な被害にあっています。その過去の水害について振り返ってみましょう。

十津川大水害

明治22年8月。熊野川流域で起きた大規模水害で、特に奈良県吉野郡十津川郷（現十津川村）に壊滅的な被害をもたらした。あまりの被害の大きさにより、被災者約2,500人が同年

台風12号の概要

8月25日9時にマリアナ諸島の西の海上で発生した台風12号は、発達しながらゆっくりとした速さで北上し、28日には強風半径が500kmを超える大型の台風となり、8月30日には中心気圧が965hPa、最大風速が35m/sという大型で強い台風となりました。

台風は、その後もゆっくり

りとした速度で北上を続け、30日に小笠原諸島付近で進路を一旦西に変えた後、9月2日には暴風域を伴ったまま北上して四国地方に接近し、3日10時前に高知県東部に上陸しました。その後、台風はゆっくりと北上して四国地方、中国地方を縦断し、4日未明に日本海に進み、5日15時に日本海中部で温帯低気圧となりました。

記録的な雨量

8月30日17時からの総降水量は、紀伊半島を中心に広い範囲で1000mmを超え、奈良県上北山村上北山で総降水量は1811・5mmとなるなど、総降水量が年間降水量平年値の6割に達したところもあり、紀伊半島の一部の地域では解析雨量で2000mmを超えるなど、記録的な大雨となりました。

なお、奈良県上北山村上北山では最大72時間降水量が1652・5mmと、昭和51年からの統計開始以来の国内の観測記録である1322mm（宮崎県美郷町みかど神門）を上回ったのを始め、北海道から四国地方にかけての多くの地点で観測史上1位を更新しました。

また、新宮市新宮では、9月4日3時57分までの1時間に132・5mmとなる観測史上最多の雨を記録しています。

紀宝町内では、1時間降水量（最大値）が、川原（鵜殿）で114mm（4日4時まで）、役場本庁舎で109mm（4日4時まで）、桐

平成2年台風19号

平成2年9月。和歌山県白浜町に上陸した大型台風。中心気圧945hPa、最大風速45m/sという非常に強い勢力を保ち上陸した。



伊勢湾台風により、熊野川が氾濫し、成川地区が浸水する様子。左後方には、旧熊野大橋が写っている。（写真提供：ボール・スワンソンさん）

原で92mm（4日3時まで）、平尾井で69mm（4日3時まで）を記録しています。（注：桐原・平尾井・相野谷・川原の各観測所では、停電や水没などにより途中から測定不能になりました。）熊野川の水位は、国土交通省紀南河川国道事務所によると、和歌山県新宮市相賀の水位観測所で9月4日2時50分に18・77mを観測。1959年9月の伊勢湾台風来襲時の16・4mを大幅に上回る過去最高を記録しました。以降は観測不能となり、水位はさらに上昇した可能性が高いとこのです。

主な 1 時間降水量 （8月30日から9月6日までの各観測所の最大値）		
和歌山県新宮	132.5mm	9月4日 3時 57 分まで
三重県熊野新鹿	101.5mm	9月4日 5時 02 分まで
三重県御浜	92.5mm	9月4日 3時 20 分まで

主な期間降水量 （8月30日午後5時から9月6日までの各測定所の総降水量）		
奈良県上北山	1811.5mm	
三重県宮川	1630.0mm	
和歌山県色川	1186.0mm	

※ 精査により数値が更新される可能性があります。

※ 気象庁資料より



2 高岡地区（明和小学校付近）

土石流が発生し、住家9棟がのみ込まれた。明和小学校へ避難していた住民は、2階の窓から善応寺へと再度避難する。



5 浅里地区

熊野川の氾濫による浸水と土砂崩れの双方に襲われる。

（写真提供：木下起査央さん 9月4日 6時25分撮影）



3 大里東地区

地区全体が浸水し、約半数の世帯が被害を受けた。

（9月4日 11時18分撮影）



4 深田運動場

グラウンドのネットが隠れるほどの、約7mの浸水となった。

（9月5日 6時36分撮影）



1 高岡地区

水は、高さ9.4mの輪中堤を越えて、地域一体を浸水させた。

（9月3日 17時10分撮影）



2 国道42号

鵜殿地区の国道42号も浸水し、通行不能状態となる。

（9月4日 5時34分撮影）



1 旧熊野大橋と熊野川

驚異的な豪雨により、旧熊野大橋も浸水。伊勢湾台風（昭和34年）でも見られなかった光景を目のあたりにすることになる。（写真提供：新宮市 9月4日 7時19分撮影）

◇◇ 家屋被害認定調査結果 ◇◇

11月18日現在

地区名	全壊	大規模半壊	半壊	半壊に至らない	地区計(A)	世帯数(B)	割合(%) (A/B)
鵜殿	0	0	41	24	65	2016	3.2
井田	0	0	4	15	19	1063	1.8
神内	0	3	27	14	44	439	10.0
成川	5	10	260	58	333	803	41.5
鮎田	5	128	41	8	182	236	77.1
高岡	25	40	28	2	95	149	63.8
北檜杖	1	4	4	1	10	52	19.2
潮原	1	3	0	0	4	6	66.7
浅里	14	12	2	1	29	54	53.7
桐原	1	0	0	5	6	102	5.9
阪松原	0	0	0	0	0	48	0.0
平尾井	1	0	1	0	2	118	1.7
井内	0	15	24	1	40	69	58.0
大里	7	95	49	11	162	312	51.9
合計	60	310	481	140	991	5467	18.1

※ 世帯数（B）は、8月末現在の数値

で、浸水や土砂崩れなどの被害をもたらしました。今回の台風で、11月2日までに判明した死者は、三重県で2人（うち紀宝町1人）、和歌山県52人、奈良県で14人で、全国では78人に上り、また、行方不明者は、全国で16人（うち紀宝町1人）に上っています。（消防庁資料より）

家屋被害認定調査を行ったところ、11月18日現在では、世帯数に対し、全壊や大規模半壊など、被害にあった世帯割合が一番大きかったのが鮎田地区で77・1％、また、全壊と判定された世帯が一番多かったのは、高岡地区で25世帯となっています。紀宝町全体では、合計で991世帯の18・1％が被害を受けました。

また、浸水被害、土砂災害、河川護岸崩壊、道路の崩落など、甚大な被害が多発した紀宝町では、国土交通省中部地方整備局の協力のもと、被災状況の調査を行いました。公共施設等の被害は、農地関係や災害ごみ関係、道路関係など、総額で約36億800万円に上る被害であることがわかりました。

台風12号の大雨は、熊野川や相野谷川などを氾濫させ、多くの地域をのみ込みました。

被害を受けた相野谷川流域では、高さ9・4mの輪中堤を越え、水が滝のように流れ込み、水位は過去最高の10mを超えるものとなり、堤内外いたるところの住家が浸水し、高岡地区の向清水団地を囲む輪中堤の一部が根こそぎ倒れるなどの被害がありました。

浅里地区では、熊野川の氾濫により、地域一体が過去最高の水位となり、9月2日20時からは停電、22時30分には道路の冠水により通行止め、ピーク時には、防災行政無線、固定・携帯電話がつながらなくなり、連絡が取れない状況となっていました。その後、土砂災害により、一時孤立状態にあった浅里地区の住民約70人は、5日に自衛隊のヘリによって救出されました。

台風12号の猛烈な雨は、高岡地区や浅里地区だけでなく、鮎田地区や大里地区、成川地区、北檜杖地区など、町内のほぼ全地区にわたっ



2 鮎田地区
牛鼻神社前はすべて浸水し、神社の社務所まで水が迫る。
(9月4日 7時17分撮影)



3 浅里地区
熊野川の氾濫による浸水と土砂崩れに襲われた。
(9月3日 11時5分撮影)



4 旧熊野大橋
伊勢湾台風以上の水位となり、旧熊野大橋も浸水した。
(9月4日 7時19分撮影)



5 旧熊野大橋
熊野川が氾濫し、成川地区の国道42号がすべて浸水する。
(9月4日 6時6分撮影)



6 鮎田地区
県道紀宝川瀬線も浸水。鮎田地区は、住家は77%が被災する。
(9月4日 9時3分撮影)



7 高岡地区
輪中堤を越え、住家は2階が隠れるほど浸水する。
(9月4日 12時7分撮影)



8 大里東地区
農協付近は完全に浸水したため、救助に向かう三重県警。
(9月4日 7時20分撮影)



9 井内地区
相野谷小学校も浸水。ピーク時の水位は、写真より約2m高い。
(9月4日 11時26分撮影)



10 大里東地区
井内工業団地入口付近は、まるで湖のように浸水してしまう。
(9月4日 10時46分撮影)



11 成川飯盛地区
農協（グリーンプラザ）付近も浸水。写真は、かなり水がひいた状態。
(9月4日 7時30分撮影)



12 鶴殿地区
国道42号の矢淵付近は、一時、堤防が隠れるほど浸水する。
(9月4日 11時13分撮影)



13 成川小学校
小学校の1階部分はすべて浸水し、多大な被害を受けた。
(9月4日 6時4分撮影)

(写真提供 ①大・②大：瀬古正広さん、③大：木下起査央さん、④大：新宮市、⑤大：紀南河川国道事務所、⑬大：山城秀明さん)



浸水時の様子

03 後世へつなぐ記録

町に襲いかかった濁流

地域全体が浸水し、見たことのない光景が広がる



台風12号は、驚異的な豪雨をもたらしました。町内のいたるところで、道路の通行止めや浸水などの影響がでて、ピーク時の9月4日5時現在には、3405世帯7432人を対象に避難指示が発令され、まなびの郷や小学校など19か所の避難所に、自主避難を含め約1000人が避難しました。

避難所の中には、想像を超える水に襲われ、浸水してしまう箇所もあり、山を越えて近隣民家へ避難するところもありました。

このページでは、台風来襲時、町を襲う濁流の様子と、普段の様子を対比させながらご紹介します。



普段の様子

1 鮎田水門付近
熊野川と相野谷川の合流地点。すべてが浸水し、見たことのない光景が広がった。
(9月4日 5時34分撮影)



2 輪中堤（高岡地区）
高岡地区の輪中堤は、洪水の影響により、一部が決壊した。



3 宣旨帰り（浅里地区）
古道「宣旨帰り」は、濁流と土砂崩れに襲われ、崩壊してしまう。



4 熊野川
樹木はすべて根こそぎ流され、浸水した高さがはっきりとわかる。



5 飛雪の滝（浅里地区）
滝の底には土砂が積もり、周辺の桜は濁流によりなぎ倒された。



6 浅里地区
大規模な土石流が発生し、家屋3棟が襲われた。



7 昼島（浅里地区）
昼島を一望できる展望台には、ボートがひっかかった状態で見つかる。



8 浅里和田地区
熊野川の濁流と土石流により、高台の道路上にも流木が散乱する。



9 御船島（船田地区）
世界遺産である御船島も濁流に襲われ、樹木がすべてなぎ倒される。



10 神内地区
土砂崩れにより、大量の流木が発生し、川をせき止めた。



11 桐原地区
橋には流木が大量にひっかかり、川をせき止める状態となる。



12 大里地区
川の上流から納屋が押し流され、電柱をなぎ倒してやっと止まった。



13 深田運動場
大量の災害ごみが発生し、仮置場として利用された。



（写真提供 ②小：紀南河川国道事務所、⑧大：木下起査央さん）



被災後

04 後世へつなぐ記録

豪雨がもたらした被害

河川の氾濫と土砂崩れが甚大な被害をもたらす



台風12号に伴う記録的な豪雨は、河川の氾濫や土砂災害などを引き起こし、町内のいたるところに大きな爪跡を残しました。

災害直後は、床上・床下浸水、道路の通行止め、電話回線の不通、停電、断水など、ライフラインが完全に麻痺した状態となりました。

浅里地区、高岡地区では、大規模な土石流が発生し、計12棟の家屋が襲われ、被害にあいました。

また、熊野川流域では、あまりの水量の高さに樹木はすべて流され、景色は一変してしまいました。

このページでは、被災前と被災後の様子を対比させながらご紹介します。



被災前

1 高岡地区
明和小学校横で土石流が発生。9棟の住家がのみ込まれ、小学校1階部分も破壊された。

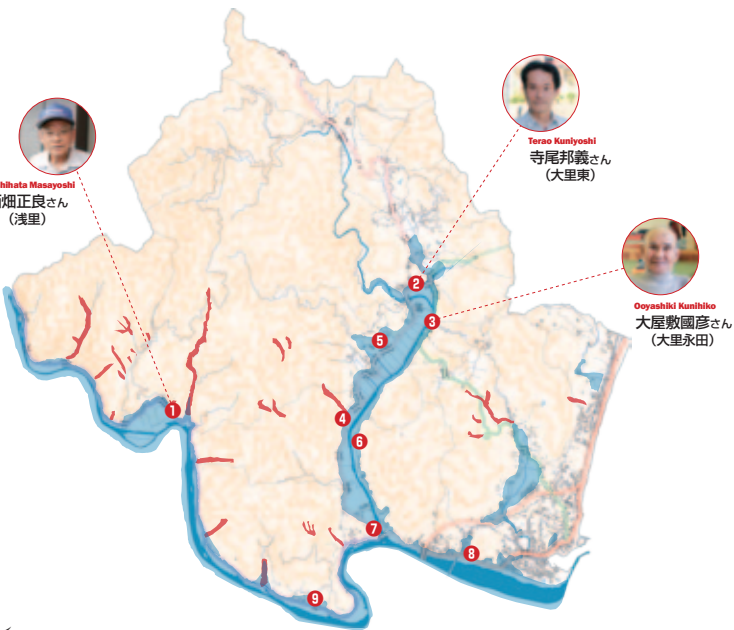
05 後世へつなぐ記録

それぞれの体験記録

災害時、あなたはどのような体験をしましたか？

台風12号は、紀宝町に未曾有の被害をもたらし、その影響は現在も続いています。

災害時、町民のみなさんがどのような形で被災し、現在までの過程をどのように経てきたのか、それぞれの体験の記憶を相互に共有し、それらを記録していく必要があると考え、各地区の9人の方にお話を伺いました。今回の経験を共有することは、今後の私たち自身にとって救いになると思います。今回の台風を忘れずに、また、今後に活かすために。



大里多目的施設に避難所を開設し、3日には33人の方が避難してきていました。すごい雨の中、まだ避難してきていない人がたくさんおられたのですが、電話はつながらない状態となり、さらに水がどんどん増えてきていたので、行ける範囲で声をかけて回って避難を促しました。その間にも水位は上昇する一方で、「このままでは、避難所にも水がくるのではないか」という危険を感じ、午後9時に相野谷中学校の体育館へみんなが移動しました。避難していた人の中には、寝たきりの人や車椅子の人

2

てらおくによし

寺尾 邦義 さん

(大里東地区)

Profile

大里東地区で自治会の役員を十数年務め、今回の災害では、自ら進んで避難所の管理・運営を行う。

組織の大切さを改めて実感しました

9月2日の夕方に避難したいという人がいたので、



避難所となった相野谷中学校体育館。最大時で、約80人が避難した。

避難所生活の中で、絆が深まりました。8月30日から降り続いた雨は、普通の状態ではなく、9月2日に田んぼが水に浸り始め、3日の夕方には、家の敷地まで水がきていました。私たちは、急いで家の上にある空き家に避難しました。浅里地区の避難所は、低いところにあるので避難できない状態で、個人の家に避難させてもらった人もいましたね。当時、避難勧告・避難指示も伝わってこない状態でした。ですから、みんなは、自己判断で避難するしかありませんでした。小さな地区なので、だれが避難していかないかがすぐにわかりました。4日の朝、雨が止み、水が引きだしてから、自治会と自主防の役員で、避難してこなかった人の安否を確認しにあちこち行きました。電話は相変わらず不通で、水が引いたところから、徐々に確認地域を広げていきました。心配だったので、首まで水につかりながら必死に確認をしました。被災してから4～5日間は、80人ほどが相野谷中学校の体育館で避難していたと思います。避難所生活では必要だろうと思う、プライバシーを保護する仕切りも用意したのですが、結局使いませんでした。仕切りがあると、話もできないし、よく知っている人ばかりなので、ない方がよかったみたいです。みんなが話すことができて、「悩まずに済んだ」「家で一人だったら不安で仕方なかったと思う」と、そんな声もあつたくらいです。今回は、中学校へと避難所を移す判断が早くできて

1

にしはたまさよし

西畑 正良 さん

(浅里地区)

Profile

浅里前区長。区長時代には、「浅里瀧まつり」など地区の活性化のために尽力する。

す。隣近所の人が、手を差し伸べ、引っ張り上げ、みんなが助け合って避難しました。水が引いて、5日夕方、ライフラインが完全に断たれ、生活ができないということで、急ぎよ、ヘリコプターで浅里の住民全員が鶴殿に救助され、親戚や知人、子どもの家へと引き取られた者を除き、31人の者が鶴殿のふれあい会館で避難生活を余儀なくされました。食事内容が変わり、不安と緊張が続くという慣れない生活のため、体調を壊す者も何人か出ましたが、経過とともに慣れ、大病する者もなく、41日間の避難所生活を送り、10月16日解散、引き上げました。ここでの生活を通して、



自衛隊のヘリコプターで救助される浅里地区の住民。(写真提供:木下起査央さん)

人は一人では生きられない、多くの人の助けや支えにより生かされていることを、これほど痛切に感じたことはなかったですね。西田町長をはじめ、職員のみなさんの献身的な働き、3度の食事、救援物資、保健師さんたちによる健康相談、これほど多くの人に助けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。大洪水により生まれた避難生活ですが、苦しみに耐え、協力し合い、支え合い、紋切り型では無念を言い尽くせない苦しみのため、ともすれば沈みがちな気持ちを和らげてくれたのは、お互い語り合う場ができたことでしょう。ここでの生活を通して、いつも輪になって大洪水の怖さや今後の生活のことなどを話し合ったことで、今までにない絆が生まれたように思います。この絆は、きっと今後の浅里の生活を支えていく生きた力として、役立つことでしょう。41日間の避難生活を振り返り、大変つらく、苦しい生活でしたが、一人の落後者もなく、よくまとまり、

よかったです。結果、大里多目的集会所は床上1・2mの浸水がありました。今回の災害で、避難所には、食糧と毛布の備蓄が絶対に必要なと感じました。また、自治会や自主防災、女性の会などの組織の大切さも改めて実感しました。

3

おおやしきくにひこ

大屋敷 國彦 さん

(大里永田地区)

Profile

大正7年大里永田生まれの93歳。人生経験豊富な大屋敷さんでも、今回のような大雨は初めてだという。

93歳やけど、こんなすごい雨は初めてや！雨がすごくて、だんだんと道が浸り、屋敷の階段もどんどん浸水し始めてるのが見えて、「こりゃあかん！」と思って、早めに逃げたんですよ。貴重品も出さなアカンけど、それどころじゃない！

早く逃げなアカン！」って思って貴重品も何も持たずに逃げたんよ。裏の山側に弟の家があつたから、石垣づたいに、一生懸命這い上がったね。大変やったよ。怪我したのも気付かんくらいに必死やったね。家は、道からの高さが3mぐらいのところにある平屋なんやけど、水が引いてから家に戻ると、天井から30cmのところで水がきていた跡が残ってたよ。家にあった貴重品とかはもう全て流されてしまったね。俺は大正7年生まれで、ずっと永田（大里地区）やけども、祖父から明治時代にすごい台風被害があつたということと聞いたことがあつたけど、俺の知ってる中でもこんなにすごい水は、生まれて初めてや。それくらいすごい雨やった。貴重品も大事やけど、やっぱり命がないとね。自分が助かって、命があつてこそ、お金っていうものに値打ちがでるんやからね。こんな災害の時は、みんながえらいんやから、自分でなんとかして逃げなアカンと思って必死に逃げてよかったよ。

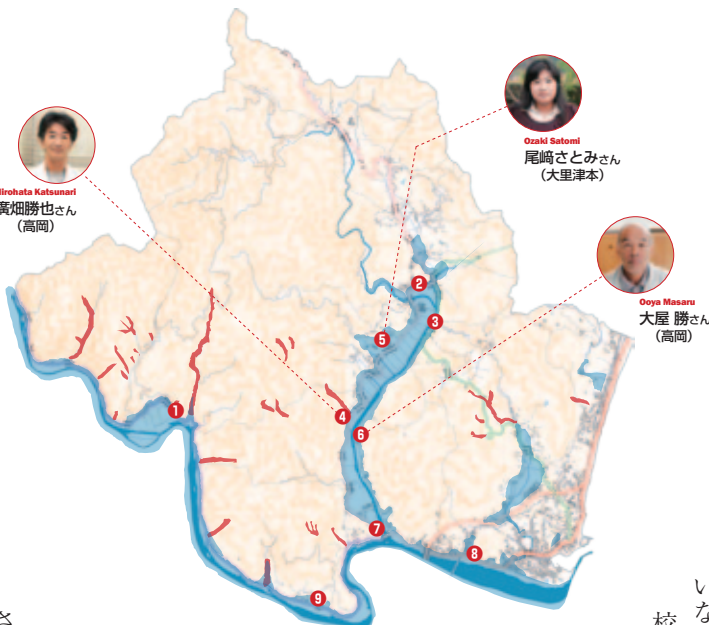


4
ひろはた かつなり
廣畑 勝也 さん
(高岡地区)

Profile
紀宝町消防団第2分団の一員として、今回も避難所である明和小学校で活動する。

助け合い、励まし合って みんなでがんばりました

台風時、私は、消防団員なので、避難所になっていた明和小学校で活動していました。小学校には、消防団員を含め、16名が避難していました。雨がすごかったので、このままでは水位の上昇が止まらないのではないかと思い、すごく不安でした。



Ozaki Satomi
尾崎さとみさん
(大里津本地区)



Ooya Masaru
大屋 勝さん
(高岡)



Hirohata Katsunori
廣畑勝也さん
(高岡)

待ち続け

ました。しかし、なかなか救助がきません。停電で真っ暗ななか、1階からは、「ドーン！ドーン！」と家具がぶつかる音が聞こえてくるんです。ライトを照らすと、30分おきに階段が1段ずつ、浸水してしまうのが見えました。このままどうなってしまうのかと、本当に怖かったです。

その後、階段はすべて浸水し、2階の床上40cmくらいまで水がきたときの、午前1時ごろ、外を見ると救助の明かりが見えました。無我夢中で「ここです！」って叫び、助けてもらいました。その時、救助にきてくれた人が言ってくれた「遅くなってゴメンよお。つらかったね。」という言葉が忘れられません。「こちらこそ、早く避難しなくてす

すると、4日の午前2時ごろ、避難している小学校の1階の床や廊下などから水が溢れ出してきたんです。すぐに外を確認しましたが、水位は学校のところまで上がってはきていません。わけがわからないまま、とりあえず、食糧と毛布、投光機など必要なものを持って、2階に上がりました。それからもずっと雨は降り続け、午前4時ごろです。地震のような地響きが鳴り始めたんです。すると、ものすごい衝撃が走り、窓ガラスが割れ、小学校の2階の廊下の窓に、石や木などが一面に張りついていました。そうです。土砂崩れが発生したんです。

小学校の山側には民家があり、人が住んでいました。安否が気になり、外を照らせる窓に行き懐中電灯で照らすと、人影が見えたんです。すごい雨で、足元の悪いなか、近くまで行き、校舎に誘導しました。するとその人が、「まだ、弟がいる。」と言いました。土砂崩れの

みません。」という気持ちでいっぱいだったのです。ボートで救助されてからは、ふるさと資料館に一時避難しました。そこでは、地元の人におにぎりやカップラーメンなどをいただいたり、とてもありがたかったです。人の温かさが身にしました。

水が引いてから家に帰って見たら、2階の天井まで水がきていた跡があつて、ゾツとしました。家の物は流されずにすみましたが、板が反っていたり、カビが生えてきたり、結局全部捨ててしまいました。この家には、水はこないだろうと思う気持ちがありました。起こってしまっただけで戻りませんし、悩んでいてもしょうがないなと思っています。今回、本当に大変でしたが、人の温かさを感じる事ができました。地元のひとたちと一致団結して、これからのがんばっていきます。



土砂崩れにあった明和小学校（左上）。見えているのは校舎の2階部分。

現場に戻り、「おい、おい。」と声をかけると、かすかに声が聞こえてきたんです。かすかな声をたよりに探すと、土砂に押し流された建物の中の、倒れた窓枠のちよつとした空間に体が挟まっていて、胸から下は見えない状況で倒れていました。幸い、少しの空間に挟まっていた状態だったので、ひっぱり出すことができました。が、怪我をされていたので、校舎まで担架で運び、手当てをし、救出のボートがくるまで、そのままの状態でご我慢してもらいました。

夜が明けてきてから、消防団員で山を越えて、各家へ安否確認に行きました。水がまだ引いていなかったのも、雨戸をたたいたり、大声を出して無事を確認し

6
おや まする
大屋 勝さん
(高岡地区)

Profile
高岡に住んで29年。家は過去に何度も浸水しているが、こんな高さまで浸ったのは初めてだという。



自分たちで判断して 素早く対応することが大切

私は、高岡輪中堤の陸。間の係をしているので、9月3日の朝から管理をしていました。昼前に水が道路まできたので、陸間を閉めた後、役場職員と一緒に高岡避難所に避難するよう団地内を回りました。

輪中堤を越えるまであと20cmぐらいになったとき、これは危機だと感じ、避難所からさらに避難する家を相談して、女性は今くの高台にある家へ、男性は山を越えて行く家へ避難しようということになりました。しかし、そうこうしている間に、堤防からは滝のように水が流れ込んでき

ました。ずぶ濡れの状態です。山に逃げている人もいました。「とにかく、水が引くまでがんばって」と声をかけて励まし合いました。

小学校は、土石流で危険だと感じたので、みんなで話し合い、避難所を寺に移すことになりました。まずは、消防団員3人で寺までのルートを確認したあと、高齢者も子どもも、みんなで食糧・毛布など持てるものを手分けして持ち、山を越えて移動しました。とにかく、大変だったので、みんなで励まし合い、助け合いながらがんばりました。今回の台風で学んだことは、どのような災害に出くわすかわかりません。もし災害に出くわしたら、まずは、自分が怪我をしないこと、自分の体を守り、逃げるのが大切だと思います。大勢いるところに逃げて、助けを待てば安心です。物資が手に入れやすいと思います。今回のことを教訓に、いろんなことを想定して、これから起こる災害に対して、みんなで助け合って対処できるようにしていかなければならないと思います。

め、あつというまに浸水してしまいました。雨のなか、山を越えて逃げたのは、10人ほどでしたかね。

山を越え、避難させてもらった家で一息ついていて、と、停電しました。外を照らして見てみると、水が近くまでできていたのに気付く、慌てて少し高いところにある農機具部屋に移動したんです。しかし、そこにも水がき始め、さらに高台にある農機具小屋までみんなで移動しました。

夜が明けて、雨が止み、団地を見に行くために下に降りてみようとなりましたが、全く水が引いていませんでした。一面、水に覆われて湖のようでした。時間がたち、水が引くにしたがつて下に降りて救助を待つて、熊野消防の人に救助してもらいました。

別の家に避難した女性たちは、屋根の上に登って一夜を過ごしたそうです。あの私たちは屋根以上は逃げ場がなかったから、本当に怖かったと思います。夜中にはゴロゴロという音が鳴り響いていたそうです。それは明和の土砂崩れだったんです。

5
おざき
尾崎 さとみ さん
(大里津本地区)

Profile
大里津本に住んで17年。大里の人はみんなこころ温かく、優しい人ばかりと話す。



自然の恐怖と共に、人の 温かさが身にしみました

すごい雨が降り続いていましたが、家の前には輪中堤があるし、今年8月末の台風6号のときも大丈夫だったので、今回も大丈夫だと思っていました。

しかし、2階から様子を見ていたら、夕方5時すぎに水が輪中堤を越えて滝のように内側へ流れてきていたのが見えました。しばらくしたら、台所の床下収納の床が浮いて、水がどんな家に入ってきました。すぐに停電したので、いつも持っているカバンと犬だけを持って、2階に避難しました。浮くようなものを持って2階でずっと救助を

家に戻ってみると、自宅近くの堤防が決壊しているのを見てびっくりしました。家の物は、ほとんど流されてしまっていました。

今まで何度か家が浸水したことはありますが、こんな屋根まで浸水してしまうようなことはありませんでした。昔とは気象状況が変わってきているので、こんな水害がこれで最後とは思っていません。雨が降るたびに不安です。今までの経験上、災害時は、とにかく、早く避難することが大切です。役場の避難勧告がなくても、自分たちの判断で早めに逃げる。人に頼るのではなく、素早く自分たちで判断して対応することが大切だと思います。



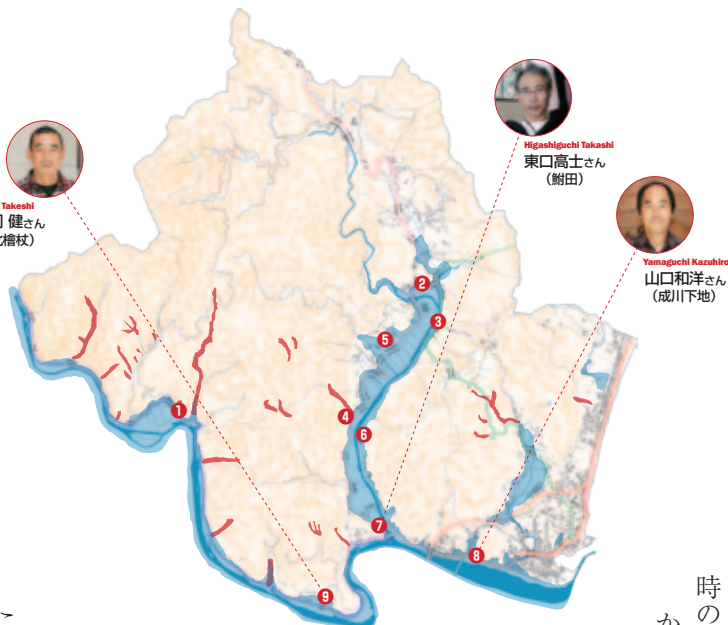
高さ9.4mの輪中堤を越え、団地へと水が浸入する様子。（9月3日 17時9分）



山口和洋さんの自宅前の写真。
(写真提供：山口和洋さん 9月4日 7時15分)

て避難してきている方を2階まで連れて上がっているうちに、みるみると水が家に入ってきました。下地区の周辺は、道路の防犯灯が多くあるので、水位がどんな上がつてくる様子や、ハザードがついた車や木が流されたりしているのが、2階の窓からよく見えていました。

私の家は、下地区でも少し高い位置にあるの



Shouji Takashi
莊司 健さん
(北檜杖)



Higashiguchi Takashi
東口高士さん
(鮎田)



Yamaguchi Kazuhito
山口和洋さん
(成川下地)

人のために自分は何ができるのか
降り始めのころから、インターネットで十津川・大台ヶ原の雨量を記録していました。そこで、自主防災の尾畑会長と話し合い、避難場所を鮎田の集会所から、高台にある大通寺に変更し、みんなを避難させました。その後、雨



7
ひがしぐち たかし
東口 高士 さん
(鮎田地区)

Profile
鮎田区長。台風時、自主防災の会長と連携し、鮎田区民の避難を率先して指示・誘導する。

のすぐく降ってきて、水門の係から輪中堤を越えるという連絡が入りました。越えてからの浸水のスピードはものすごく早かったです。

とりあえず、大通寺と牛鼻神社の2か所に分かれて避難しました。私は牛鼻神社で20人ぐらいの人といたんですが、牛鼻神社の下も水が浸り始めたので、万が一のことを考えて、半分の方は2階建てである鮎田水門の管理棟へ移動しました。

大通寺の班から、浸水するかもしれないと連絡があったので、山を越えるしかないだろうと思い、1か月ほど前に自主防災で整備した、大通寺から浄水場までの山越えの道を通って避難してもらいました。4回に分けて避難したと聞いています。足場が悪いし、夜中2時から3時の間は雨も雷もすご

かったときですから、お年寄りもいたので、相当大変だっただろうと思います。

に、床上80 cmぐらいまで浸水しました。完全に油断です。「こない」という安全神話みたいなものがあり、心配ないという気持ちがありました。ある程度予測していれば、事前に避難したり、家具を2階に上げたり、一人暮らしの方をもっと安全な時に避難させたり、誘導したりできたのではないかと思っています。自分たちに危機感がなかったのが悔やまれます。

明治時代の十津川大水害のときに飯盛地区で亡くなった御先祖がいたことが最近わかりました。十津川大水害のときも今回の台風12号に似たコースを進んでいます。こういう危機管理があれば、このコースを通る台風は、想像を絶する雨になるということを予測できたのではないかと思っています。ですから、今回のことは、いい教訓にしなければなりません。

「まさか、輪中堤を越えるはずがない」「2階建てだし大丈夫」と思っている人がほとんどで、逃げなかった人が多くいました。輪中堤を越えたときは、そのまさか

まず、浸水した鮎田集会所の掃除から始めようと思

自然の力、猛威は、予測を越えたものが起きる可能性があります。わたしたちは、自分たちの経験のなかで判断してしまいがちですが、これからは、個人レベル・集落レベル・自治体レベルで共有して、危機感を敏感に持って、万全に備えてい

この災害は後世に語り継いでいかなければ
私の家は、北檜杖でも一番低いところにあるのですが、8月30日くらいから熊野川上流でかなりの雨が降っていたので、警戒はしていました。9月3日の午



9
しやうじ たけし
莊司 健 さん
(北檜杖地区)

Profile
山師であり、熊野川の船頭でもあるため、熊野地域の自然について、熟知している。

れてとても助かりました。一番大切なのは、人の命です。日常から災害に対する心構えが必要ですね。いつ、何があっても、どこにいても、自分が何をすべきか常に考えていなければなら



鮎田水門も浸水し、家屋や車などが流されてしまう。(写真提供：東口高士さん 9月4日 9時33分)

前8時に水位の上昇が止まったので、このまま水が引いていくのを待っただけかなと思

我が家は過去に、昭和28年と昭和34年伊勢湾台風のときの2回だけ床上ぐらいの高さまで浸水したことがあります。しかし、そのころは河床がすごく高かったんです。今はすごく下がっている



8
やまぐち かずひろ
山口 和洋 さん
(成川下地地区)

Profile
成川下地地区の前町内会長。自主防災にも積極的に参加し、地域のため防災対策に尽力する。

日ごろから災害に対する心構えが必要

自主防災の関係で、3日の夜9時ぐらいから下地区を見回りにいきました。そのときは、国道に水が入っていて、旧国道は約30 cmぐらいまで水が

浸っているのが見えて、「これは大変だ」と思ったのをはつきりと憶えています。最終的に、我が家は4 m近く浸水してしまいました。平成2年の水害の時は、船を出して救助の応援に行

Interview Kogishi Nobuhisa

台風12号は記録的な豪雨と土砂災害をもたらし、一人の尊い命を失い、いまだ一人の行方が判明していません。亡くなられた方、そのご遺族の皆様、被災されました住民の皆様は心よりお見舞いを申し上げます。

さて、今回の災害に際しての当署の活動を振り返ってみますと、相野谷川が氾濫し、周辺住民の方々から悲痛な救助要請が数多く寄せられました。一刻を争う緊迫した事態と判断し、直ちにボートによる救出・救助活動に当たりました。現場は、真つ暗闇で、暴風雨の中、わずかに見える電柱の頭を目印に、ボートを操るなど、かつて経験したことのない状況のなか、町役場・消防署・消防団の方々、応援に駆けつけた警察本部機動隊員とともに、一人でも多くの方を助けたいという思いで、夜を徹しての活動となりました。

この活動を通じて、未曾有の被害の中で、地域住民の皆様様の「安心・安全」に少しは応えられたのではないかと思います。



紀宝警察署生活安全課長

こぎし のぶ ひさ
小岸 伸久 さん

Profile

昭和45年度会郡度会町生まれ。平成2年に三重県警察官を拝命。平成23年から紀宝警察署生活安全課長として勤務している。

関係機関との連携を深め より一層の防災対策を進める

います。また、警察活動を早期にできたのは、町役場を始め関係者の方々との協力体制があったからこそであり、まさに地域の「安心・安全」を担う各機関が有機的に連携できたことによると思います。

この地域は、大地震・大津波の発生が懸念されており、今後一層、町役場・関係機関等との連携を深め、防災対策を進める必要があると思います。

これから年末に向け、紀宝町民の皆様が犯罪や交通事故による被害者とならないよう、これまで行ってきたパトロール活動等を一層強化してまいりますので、引き続き、ご理解・ご協力をお願い致します。

Interview Saraie Masaru

台風12号に伴う雨は、9月3日から4日にかけて記録的豪雨となり、紀宝町はもとより、紀伊半島全体に大きな被害をもたらしました。

予想を超える雨量により、相野谷川が氾濫したため、午後6時18分に119番通報が入電し、紀宝分署から鮎田地区水門付近へ救助出場しました。鮎田地区の家屋はすでに2階付近まで浸水しており、依然、水位は上昇傾向であったため、ボートによる救助活動を実施しました。その後も河川の氾濫は拡大し、大里・井内地区も浸水、熊野川の氾濫により鮎田水門上の道路も冠水、高岡地区の輪中堤内も浸水となり、続々と119番通報が入電する状況でした。

そのため、熊野市消防署、御浜分署、紀和分署からも応援出場し、紀宝町内に消防隊員を集結させ、尾鷲消防署からもボートを借用するなどして、浸水地区の救助活動を実施しました。3日から4日の朝にかけ、247件の119番通報が入電し、消防力を大

きく上回る災害となっていました。

近年の地球規模での異常気象や東海・東南海・南海地震の発生等、今後も消防力を上回る災害の発生が懸念されます。紀宝分署としましては、今回の災害を教訓に、各関係機関と協力し、早めの避難を呼びかけることにより、未然に1人でも多くの住民の方に危険がおよばないようにしたいと考えております。

今回の災害は、我々消防職員にとっても想像を超える大災害でした。しかし、今回の台風12号や、東日本大震災が発生したこの現実を、時間の経過と共に忘れることのないよう日頃から防災意識を高く持ち続けていただくことと、自助・共助・公助の連携が大事だということをあらためて実感しました。

熊野市消防署紀宝分署分隊長

さら い え まさる
更家 賢 さん

Profile

昭和43年熊野市紀和町生まれ。平成9年に熊野市消防本部に入署。平成21年から紀宝分署分隊長として勤務している。



Interview Mukai Osamu

紀宝町消防団長

む か い おさむ
向井 治 さん

Profile

昭和22年紀宝町井田生まれ。昭和54年5月に紀宝町消防団に入団し、平成23年4月から消防団長として尽力する。



無駄足になっても すぐに避難して欲しい

町には、179名の消防団員がいます。今回、多くの消防団員がいろいろな活動に出てくれました。

最初の活動は、救助活動でした。その後は、長期間にわたって、捜索活動、給水活動、災害ごみの管理、避難所の管理を行っています。被災現場を見たとき、理屈抜きでいろいろな活動をしなければならぬと思いました。日々前進するために、消防団ということは関

係なく、どんな仕事でもみんなで助け合っていたかなればという考えで活動を行っていました。こんな時こそ、みんなの力が必要なのです。そんななか、御浜町や紀北町の消防団員が応援に来てくださり、また、多くのボランティアの人たちも助けてくれました。本当に感謝です。紀宝町は、いろいろな人の力を借りて、助け合っていくことで、この災害を乗り越えられると思います。

消防団の仕事としては、避難の呼び掛けが一番大切だと思っています。しかし実際、全員に避難してもらうのは非常に難しいのが現状です。みなさんには、まず、自分が助かることを考えてくださいとお伝えしたいです。自分が助かったら、次にお互い助け合ってください。また、無駄足になってもいいから、明るいうちに早めに避難して欲しいと思います。これは、私たちからお願いです。夜の救助活動は、スピードが半減しますし、水が増えてくると身動きがとれないことがあります。周りが見える明るいうちに避難してください。

今回のことは、絶対に忘れずに、今後に活かさなければなりません。紀宝町消防団としても、消防組織の強化を図り、近隣の消防団との交流を深めながら、お互いに助け合い、また、町内にある34の自主防災組織と連携も深め、今後起こりうる災害に向けて、さらなる防災対策に取り組んでいきたいと考えています。

04. 県や各市町などのみなさんに、給水活動をしていただきました。05. 避難所前では、温かい料理を振る舞う炊き出しも行われました。06. 東日本大震災で被災した宮城県七ヶ浜町から、応援メッセージ付きのカエルちゃん人形が100体贈られました。人形には、「必ず元のまちにカエル」という願いも込められています。



06



04



02



05



03



01

06 後世へつなぐ記録

支え合うところ

やさしい気持ちに紀宝町は支えられている

01. 土砂や流木に覆われてしまった飛雪の滝周辺を清掃するボランティアのみなさん。02. 全国から支援物資が数多く届けられました。03. 紀宝町災害ボランティアセンターに連日多くの方が、紀宝町の復興のために駆けつけてくださいました。

紀宝町の復興のために届いた、優しい気持ち (11月18日現在)

- ◆ 紀宝町災害ボランティア登録者総数 5, 314 人
- ◆ 紀宝町台風12号災害義援金額 26, 773, 941 円
- ◆ 支援団体

国土交通省中部地方整備局／国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所／国土交通省近畿地方整備局／国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所／海上保安庁・尾鷲海上保安部／陸上自衛隊／三重県／企業庁／三重県警察本部・紀宝警察署／桑名市／いなべ市／四日市市／鈴鹿市／伊賀市／亀山市／名張市／津市／松阪市／伊勢市／鳥羽市／志摩市／尾鷲市／熊野市／木曽岬町／東員町／菰野町／朝日町／川越町／多気町／玉城町／明和町／度会町／大台町／南伊勢町／大紀町／紀北町／御浜町／香肌奥伊勢資源化広域連合／菊扶間環境整備施設組合／川越町組合立クリーンセンター／伊勢広域環境組合／自治労三重県本部／紀北町消防団／御浜町消防団／中日本高速道路株／北越紀州製紙株／株奥村組／みえ清掃事業協議会／三重県医師会／紀南医師会／三重県歯科医師会南紀支部／歯科衛生士会尾鷲南紀支部／社団法人三重県栄養士会／紀宝町建設業組合／紀宝町水道組合／県内小中学校／市町教育委員会／県教職員組合／志摩JC／中部緊急防災協会／朝日町川越町組合立環境クリーンセンター／NPO地球環境共生ネットワーク／三重県環境整備事業協同組合／社団法人三重県産業廃棄物協会 (ほか多数のみなさん (順不同))

紀宝町は、台風12号の影響により、過去に経験したことのない甚大な被害を受け、深刻な状態にありました。そんななか、災害直後から、全国各地から優しい支援の手が差し伸べられました。9月5日に開設された紀宝町災害ボランティアセンターでは、地元の方をはじめ、遠くは北海道など、県内外から多くのみなさまにボランティアの参加協力をいただきました。10月16日の閉所日までの42日間で、延べ5,314人の方に登録していただき、家屋・敷地内の泥出しや、家具の運び出し、ごみの整理、掃除など、早期の生活復興に向けてご尽力いただきました。また、国・県をはじめ各種団体からも、数多くの方が支援に駆けつけてくださいました。

断水状態にあった紀宝町に対し、災害直後の9月4日から、県内外から給水車に乗って即座に駆けつけてくださり、みなさんへ飲料水の配給をしていただきました。また、甚大な被害を受けた水道施設においては、関係各位のご尽力により、早期に断水状態を解消することができました。台風で発生した災害ごみは、紀宝町の年間排出量の数倍になるほどの想像を超える量でしたが、応援に来ていただいた人たちの手によって、早期に回収することができました。支援物資も全国各地から、食料や日用品・衣類などがたくさん届けられました。送っていただいた物資は、自主防や民生委員などを通して、避難所や要援護者などへ、くまなく迅速に支給

させていただきました。災害義援金も全国各地から寄せられ、11月18日現在で、2千6百万円を超える金額となっています。この義援金は、被災された方の生活再建の援助金として、配分させていただきます。町内のいたるところで、炊きだしや足湯、マッサージなどの、紀宝町を元気づける共助の光景が多く見受けられました。今の紀宝町は、全国各地から届けられた物心両面からの温かい支援と、お互いを思いやる優しい気持ちによって支えられています。支援者への感謝の気持ちを忘れずに、支え合うところを大切にすることが、今後の紀宝町、また日本を明るくし、復興へとつながっていくのではないのでしょうか。

支え合うところが復興へとつながる

支援された人 - Interview -

感謝の気持ちでいっぱいです！

家は、鵜殿駅の裏にあるのですが、今回の台風で浸水してしまい、この際、解体しようと思っています。今年、主人が亡くなり、どうしても片づけられなくて、無理だと思っていました。しかし、ボランティアさんに2回も入っていただき、あっという間に片づけてくれました。本当に助かりました。このことは一生忘れません。

今回の災害で、私は、自分一人では生きてはいけず、たくさんの人たちの支えによって、生きていられるんだと、つくづく感じました。いろいろ大変でしたが、今一度、感謝の気持ちを持って、これからはがんばって生きていこうと思います。本当にありがとうございました。



いいた ゆうこ 伊田 裕子さん (鵜殿地区)

支援した人 - Interview -



三重県紀北町立相賀小学校の児童会から、被災した成川小学校と相野谷小学校のために、児童会で集めた多額の義援金を寄付していただきました。

今度は私たちの番！

7年前の台風21号で、相賀小学校の1階が浸水する水害にあったとき、多くのみなさんに支援してもらいました。今度は私たちの番だと思い、児童会で話し合い、義援金を一生懸命集めました。紀宝町の日も早い復興を願っています。



おくら あいり 小椋 愛莉さん 相賀小学校児童会長

一日も早い復興に向け 全力で取り組みます

台風12号は、9月2日から4日にかけての記録的な豪雨により、河川の氾濫や土砂崩れなどを多数発生させ、1000棟を超える家屋が浸水するなど、過去に例をみない甚大な被害をもたらしました。

力いただいた自衛隊、警察、消防、消防団、自主防災組織などの皆さまに、深く敬意を申し上げます。

また、災害直後から、献身的なご支援をいただいた国や県、各市町、各種団体の方々をはじめ、県内外から駆けつけ、被災地で汗を流していただいた多くのボランティアの方々や、救済物資、義援金、見舞金など全国から寄せられた温かいご支援とご協力に厚くお礼申し上げます。

お亡くなりになられた方とご遺族の皆さまに、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。また、被災されました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の災害ではありませんが、危険がせまるなかで、町民の皆さまに適切かつ安全に避難していただくか、避難の判断、情報の伝達方法、避難者の把握など、発災前・発災時・発災後の各段階において、課題もいくつか見えてきました。今後、この課題を解決し、減災に努め、私たちの子どもや子孫の世代にも誇れるような、安全・安心に暮らせる地域の形成に取り組んでまいります。

町民の皆さまには、台風の影響により、一時は、道路や水道、電話など全てのライフラインが断たれ、日常生活において多大なご不便とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

日夜問わず、救助活動、搜索活動、復旧活動にご尽



紀宝町長 **西田 健**

り組んでまいりたいと考えております。復興までの道のりは決して平坦なものではありませんが、町民の皆さまのご理解とご協力のもと、町議会をはじめ、関係団体等と共に力を合わせ、被災された皆さまや、いまなお避難生活を余儀なくされている皆さまの生活が早期に再建されますよう、引き続き総力を挙げて取り組んでまいります。

07 後世へとつなぐ記録

未来へ向かって

減災による、安全・安心のまちづくり

今こそ、地域力

復興桜

濁流に襲われ、根こそぎ倒されてしまった桜
そんな桜が、季節外れにも関わらず
まるで、みんなを勇気づけるかのように
見事な花を咲かせました
この桜のように、もう一度私たちも立ち上がり
花を咲かそうではありませんか



2 被災者生活再建支援金について ②

② 被災者生活再建支援金の支給（国の制度）【対象：全壊・大規模半壊・（半壊※注意 1）】

台風 12 号による災害により、居住する住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し、生活の再建を支援するために支援金が支給されます。申請手続きが済んでいない方はご利用ください。

1. 対象・支給金額

【A】基礎支援金（住宅の被害の程度に応じて支給する支援金）と【B】加算支援金（住宅の再建方法に応じて支給する支援金）の合計額（表②参照）

2. 申請期限（基礎支援金と加算支援金は分けて申請することができます）

【A】基礎支援金：平成 24 年 10 月 1 日まで

【B】加算支援金：平成 26 年 10 月 1 日まで

※注意 1

対象要件となる半壊・敷地被害（解体）について、住宅が「半壊」または「大規模半壊」の罹災証明書を受け、住宅の敷地に被害が生じるなどして、そのままにしておく危険であったり、修理するにはあまりにも高い経費がかかるため、やむ

を得ず解体した場合、「全壊」として申請手続きができ、国の審査が受けられます。

（例）

- ・補修費用が高額であり、解体する方が安価である場合
- ・住居に流入した土砂を撤去する場合や、耐え難い悪臭のため解体する場合
- ・そのまま放置すると、他の被害を起こす可能性がある場合
- ・敷地の補修のため、解体せざるを得ない場合
- ・賃貸住宅の所有者（家主）により被災した物件が取り壊された場合

これらに該当する場合は、そのことを証明するために「滅失登記簿謄本」または「取り壊し証明書（解体業者発行）」と「解体前後の写真」の提出が必要です。

※注意 2

【B】加算支援金の「補修」について、賃貸住宅（借家）の場合、補修は本来、所有者が行うべきですが、被災した貸借人本人が補修した場合も加算支援金の対象となります。（全壊・大規模半壊に限る）

表② 対象・支給金額

【A】 基礎支援金 ※①		【B】 加算支援金 ※①	
罹災の状況	支援額	再建方法	支援額
全壊	100 万円	建設・購入	200 万円
大規模半壊	50 万円	補修	100 万円
半壊・敷地被害（解体）※②	100 万円	賃借 ※③	50 万円

※①単身で居住していた場合は、それぞれ 3/4 の額の支給となります。

※②半壊・敷地被害は、住宅をやむを得ず解体した場合に限ります。これらに該当する場合は事前にご相談ください。

※③いったん住宅を賃借した後、自ら居住する住宅を建設・購入（または補修）する場合、加算支援金は合計で 200（または 100）万円となります。

▶詳しくは、役場総務課（☎ 3 3 — 0 3 3 3）までお問い合わせください。

1 家屋被害認定調査について

台風 12 号により被害を受けた世帯で、居住していた家屋が床上浸水以上の世帯を対象に実施してきました家屋被害認定調査（被災者生活再建支援法の適用を受け、内閣府「災害の被害認定基準」に基づく調査）について、まだ調査を受けていない方は、紀宝町役場総務課までご連絡ください。

調査期限は、12 月 28 日までです。なお、この家屋被害認定調査の判定結果に関する不服の申し立ては、平成 24 年 1 月 31 日までとさせていただきます。

▶詳しくは、役場総務課（☎ 3 3 — 0 3 3 3）までお問い合わせください。

2 被災者生活再建支援金について ①

① 紀宝町被災者生活再建支援金の支給 【対象：半壊・床上浸水】

台風 12 号災害により被災された住宅が多く発生したことから、三重県の財政支援を受け、これまでの町見舞金制度にかわり、「紀宝町被災者生活再建支援金」を制度化し、支給することになりましたのでご案内します。

1. 支給対象世帯

①支援金の支給対象は、平成 23 年台風 12 号発災時に紀宝町に居住し、被害を受けた世帯とし、世帯主に対して支給するものとする。

※複数世帯が同居しており、生計が別の世帯はそれぞれの世帯で支給できる場合がありますのでご相談ください。

②対象となる被害の程度は、半壊または床上浸水とする。

2. 支援金の支給額

支援金の支給額は、災害の程度、世帯構成員数に応じて下記の表に基づき支給します。（表①参照）

3. 届出書類

- ①「紀宝町被災者生活再建支援金支給申請書」
- ②罹災証明書
- ③住民票…役場税務住民課にて発行（手数料不要）

4. 受付期限

平成 23 年 12 月 16 日（金）まで

5. 受付場所

役場福祉課

6. その他

調査結果が「半壊」で、やむを得ず家屋を取り壊し「全壊」申請中の方は判定決定後、支給いたします。（25 分の※注意 1 を参照してください。）

表① 支援金の支給額表

区分	住宅被害世帯	支援金
複数世帯 ※世帯の構成員が複数	半壊世帯	350,000 円
	床上浸水世帯	250,000 円
単数世帯 ※世帯の構成員が単数	半壊世帯	262,500 円
	床上浸水世帯	187,500 円

▶詳しくは、役場福祉課（☎ 3 3 — 0 3 3 9）までお問い合わせください。



4 その他

① ところと体の健康相談のお知らせ

台風 12 号の被害の影響により、不安感、被災後の環境の変化、連日の後かたづけによる疲労やストレスなどで、ところと体に不調がおきていませんか？

そこで、紀南医師会の先生による健康相談を右記のとおり行います。この機会にぜひご相談ください。
▶申し込みなど詳しくは、保健センター（☎ 3 2－3 7 0 0）までお問い合わせください。

日時 ① 12 月 4 日（日） 午後 1 時 30 分～
担当：熊野病院長 福田衆一医師
紀南病院 中前範子医師
②平成 24 年 1 月 15 日（日）午後 1 時 30 分～
担当：紀南病院 中前範子医師
場所 保健センター（神内）
内容 医師による「ところと体の健康相談」
料金 無料（①②両日とも、各医師先着 5 名）

② 町防災行政無線戸別受信機（防災ラジオ）の配布について

戸別受信機を設置していない世帯および町内事業所を対象に、戸別受信機（防災ラジオ）の配布を 9 月から行っていましたが、台風 12 号により、多くの世帯が被害を受け、戸別受信機も、使用不能となった世帯が数多くあると思われます。

そのため、現に戸別受信機を設置していない世帯、戸別受信機が故障し使用不能となっている世帯および町内事業所につきましては、戸別

受信機（防災ラジオ）を無料（1 台のみ）で貸与します。電話にてお申し込みください。すでにお申し込みされている方につきましては、再度のお申し込みは不要です。

なお、現在、戸別受信機（防災ラジオ）の在庫に限りがあるため、製作発注しています。配布を行うまでには 2～3 か月程度の時間を要しますので、ご了承のうえ、お申し込みください。

▶詳しくは、役場総務課防災対策係（☎ 3 3－0 3 3 5）までお問い合わせください。

③ 防災行政無線が電話で確認できます

町では、防災行政無線放送の難聴地区解消対策のひとつとして、自宅電話や携帯電話からフリーダイヤルにより、放送内容を確認できるシステム（音声応答装置）を導入しています。

放送の内容が聞きづらい、わからないときは、フリーダイヤルで同じ放送を聞くことができます。

フリーダイヤル電話番号（無料）

☎ 0 1 2 0－3 3 4－1 1 9

▶詳しくは、役場総務課防災対策係（☎ 3 3－0 3 3 5）までお問い合わせください。

3 義援金の 1 次配分について

台風 12 号災害義援金の 1 次配分が決まりました

台風 12 号災害に対し義援金をお寄せいただいた皆さまには心から厚くお礼申し上げます。

皆さまの温かいお気持ちと一緒に届けられた義援金を有効に配分するため、11 月 10 日、紀宝町台風災害義援金配分委員会（委員長・二村特別参与）を開催し、1 次配分を決定しました。その結果と、三重県で決定された義援金とを合わせて、次のとおり配分させていただきます。

1. 配分の対象

- ①人的被害
台風 12 号による死者、行方不明者及び重傷者
②物的被害
台風 12 号による内閣府被害認定基準調査結果区分（全壊、大規模半壊、半壊、床上浸水）

2. 配分額

表① 台風 12 号災害義援金配分一覧表のとおり

表① 台風 12 号災害義援金配分一覧表

	死者・行方不明者	重傷者	全壊・流失	半壊（大規模半壊含）	床上浸水
三重県	100,000 円	50,000 円	100,000 円	50,000 円	—
紀宝町	100,000 円	50,000 円	50,000 円	20,000 円	20,000 円
合 計	200,000 円	100,000 円	150,000 円	70,000 円	20,000 円

▶詳しくは、役場福祉課（☎ 3 3－0 3 3 9）までお問い合わせください。



便所（園児用）



ホール



保育室



多目的ホール（遊戯室）



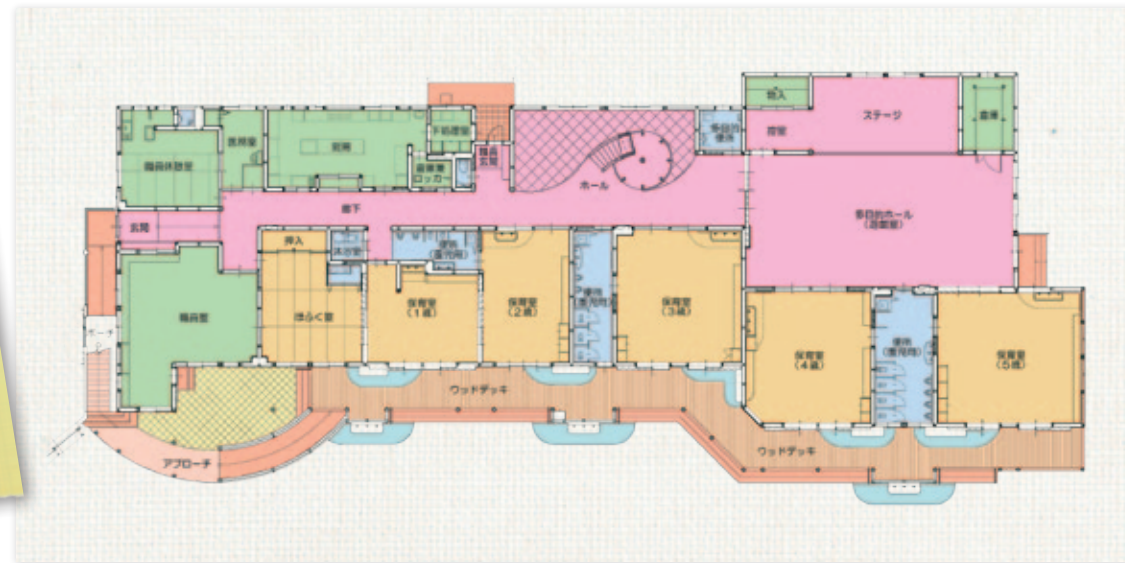
保育所の隣には、「亀楽苑」があり、多世代間交流ができる環境が整っています。



DATA

紀宝町立井田保育所建設概要

位置：紀宝町井田 1609 番地 6
敷地面積：2,736㎡
構造：木造 2階建
延床面積：830.5㎡
総事業費：248,675千円
(建築費170,163千円)



竣工式（11月7日）



園庭



ほふく室、保育室

地元木材をふんだんに使った
An Ida day nursery

井田保育所を新設



豊かなふれあい空間 多世代間交流

井田保育所の新園舎竣工式が、11月7日、同所で行われ、西田町長や町議会議員、井田区長、民生委員児童委員協議会長、保護者代表など約35人が参列し、完成を祝いました。

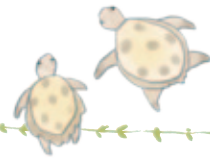
井田保育所は、昭和46年建設以来40年の長きにわたり地域の皆さまに親しまれてきましたが、耐震性等が憂慮されるなか、子どもたちの安全・安心を最優先に考え、建て替えが行なわれました。式では、西田町長式辞のあと、設計主や施工主ら6人に感謝状が贈られました。

地元木材をふんだんに使用し建設された井田保育所は、木の香り漂うあたたかみのある園舎で、木造2階建、延床面積830・5平方メートルと、旧保育所に比べ400平方メートル程大きく、園庭には、憩いの広場や菜園等ができるスペースを確保しています。また、多目的ホール、保育室、ほふく室は採光を多く取り入れた、明るく開放感がある。

る間取りで、爽やかな自然の風がいつも通り抜け、清潔な室内を保つことができます。ホールには、魚たちが海底を通り抜けるイメージでつくられた、遊び心たっぷりのおさかなトンネルや、サンゴの図書室があり、2階のテラスからは、広大で光きらめく太平洋や子どもたちが元気に集い遊ぶ園庭が一望できます。

本年7月に開所した特別養護老人ホーム「亀楽苑」が隣接しており、保育所の完成を契機に子どもたちと高齢者、地域との多世代間交流ができる環境が整いました。家族や地域社会の変化にともなって、高齢者や子どもなど世代の異なる者同士が関わる機会が減っていくなか、日常的な交流が自然に行うことができそうです。高齢者が子どもたちとふれあうことで表情が和み、子どもたちも高齢者に対する思いやりの心が育まれるなど、さまざまな相乗効果が期待できます。豊かなふれあい空間のなかで、子どもたちが伸び伸びと健やかに育ってくれることを願っています。

通学する小学校を選択できます



紀宝町教育委員会では、町立小学校への通学区域を緩和し、通学する学校を自由に選択できる制度を導入しています。これにより、町内に住所を有する小学校および中学校の来年度入学者は、表①の学区一覧のとおりです。

現住所外以外の区域の小学校を希望される保護者は、次に従って、町教育委員会に申し出てください。なお、中学校は従来どおりです。

◆平成 24 年度小学校入学予定者

平成 24 年 1 月の初旬に、「入学通知書」を町教育委員会から配付します。通知書以外の学校への入学希望者は、1 月 20 日（金）までに町教育委員会へ申し出てください。

◆在学児童

現在、町内小学校に在学している児童で、現学校以外へ進級を希望する場合は、原則として次年度 4 月 1 日からとします。希望する場合は、12 月 22 日（木）までに、町教育委員会まで申し出てください。

※進学および進級等の通学手段の確保は、保護者の責任において行ってください。

◆町内中学校への進学

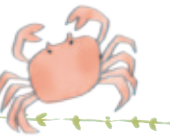
中学校への進学は、従来どおり表①学区一覧のとおりで、学区は緩和されていません。

▶詳しくは、町教育委員会学校教育課（☎ 3 3 - 0 3 4 1）までお問い合わせください。

表① 町立小・中学校の学区一覧

学校名	学区
井田小学校、神内小学校、成川小学校、相野谷小学校、鵜殿小学校	町内在住者選択区
相野谷中学校	大里・井内・桐原・平尾井・阪松原（高岡・北檜杖・瀬原・浅里は相野谷中学校・矢淵中学校の選択区）
矢淵中学校	井田・神内・成川・鮎田・鵜殿

子ども手当の新しい制度が始まります



10 月 1 日より、子ども手当の新しい制度が始まりました。これにより平成 23 年 10 月分～平成 24 年 3 月分の子ども手当が、次のように支給されます。

これまで手当を受け取っていた方も含め、全ての方について申請が必要になりますので、お忘れにならないようにお願いします。

なお、平成 24 年 4 月分以降については未定です。詳細がわかり次第、お知らせします。

1. 支給対象

中学校卒業まで（15 歳に達した後、最初の 3 月 31 日まで）の子どもを養育している方

2. 支給額

子どもの年齢		子ども手当月額
3 歳未満		15,000 円
3 歳以上 小学校修了前	第 1 子 第 2 子	10,000 円
	第 3 子以降	15,000 円
中学校		10,000 円

3. 支給時期

制度	支給時期	支給対象月
旧制度	平成 23 年 10 月	平成 23 年 6 月～平成 23 年 9 月分（4 か月分）
新制度	平成 24 年 2 月	平成 23 年 10 月～平成 24 年 1 月分（4 か月分）
	平成 24 年 6 月	平成 24 年 2 月～平成 24 年 3 月分（2 か月分）

10 月分以降の手当を受け取るためには、認定請求書の提出が必要です。なお、公務員の方は勤務先で申請してください。

これまで手当を受給していた方で、引き続き手当の支給要件に該当する方には、11 月中に認定請求書を送付しています。

※認定請求書が送付されていない方は、役場福祉課までご連絡ください。

▶詳しくは、役場福祉課（☎ 3 3 - 0 3 3 9）までお問い合わせください。

勤労者向け協調融資制度のご案内



紀宝町教育委員会では、勤労者の負担軽減のため、東海労働金庫と協調して、教育資金の貸付制度を設けています。

◆融資対象者

- ・紀宝町の住民基本台帳に登録され、引き続き 1 年以上居住している方
- ・年間所得金額が、1,000 万円以下の方
- ・納期到来分の町税等を完納している方

◆用途

町内に居住する勤労者、およびその親族の教育に必要な資金

◆融資額

10 万円以上 200 万円以下の 10 万円単位

◆融資利率

年 2.35%（平成 23 年度現在）
ただし、5 年目以降は、東海労働金庫の定める利率

◆融資期間

15 年以内とし、最長 4 年以内の間で元金据置期間を設けるものとする

▶申し込みなど詳しくは、東海労働金庫熊野支店（☎ 0 5 9 7 - 8 5 - 4 5 8 8）までお問い合わせください。

所得税・町民税の雑損控除説明会の日程について



災害により住宅や家財などに損害を受けたときは、確定申告で、「所得税法」に定める雑損控除の方法か、「災害減免法」に定める税金の軽減免除による方法のどちらか有利な方法を選ぶことによって、所得税の全部または一部を軽減することができます。なお、受け取った保険金などは、損失額から差し引かれます。所得税・町民税が非課税の方については申告の必要はありません。

尾鷲税務署、紀宝町役場では、所得税・町民税の雑損控除についての説明会を、右記のとおり実施しますので、ぜひご来場ください。

◆雑損控除説明会日程表

開設日	会場	開設時間
12月12日 （月）	大里多目的集会施設 旧矢淵中学校浅里分校	10：30～12：00 14：00～15：30
12月13日 （火）	中村多目的集会施設 下地生活改善センター	10：30～12：00 14：00～15：30
12月14日 （水）	高岡老人憩いの家 鮎田構造改善センター 紀宝町役場本庁舎	10：30～12：00 14：00～15：30 14：00～15：30

▶詳しくは、尾鷲税務署（☎ 0 5 9 7 - 2 2 - 2 2 2 2）、または役場税務住民課（☎ 3 3 - 0 3 3 7）までお問い合わせください。

災害時の写真の募集します

町では、台風12号における被害状況等の記録を後世に引き継ぐため、みなさんが撮影した災害時の紀宝町の写真や動画を募集しています。フィルムカメラやデジタルカメラのほか、携帯電話のカメラでも結構です。ご協力いただける方は、次のどちらかの方法でご提供ください。また、ご提出いただく際には、住所、氏名、連絡先、撮影場所など写真等の説明をご記入ください。

◆提出先

- ①持参または郵送の場合
紀宝町役場企画調整課
(紀宝町鶴殿324番地)
- ②メールの場合
koho@town.kiho.jp

※メールで提出の場合は、件名を「災害写真の提供」と入力し、送信してください。
なお、受信の関係上、1件当たりのメール送信容量を5メガバイト以下としてください。

◆提供に関する遵守事項

○提供した写真の著作権は、提供者に帰属します。ただし、提供者は町に對して、提供した写真を広報等で使用する(複製、展示、貸与、出版を含む)権利を無償で許諾するものとします。

○他の書籍やサイト等から無断コピー(ダウンロード)した写真や動画など、著作権法など法令に抵触するものの提供は行わないでください。

▼詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。



(例) 携帯で撮られた、水が引き始めたころの深田グラウンド前の写真

ソーシャルレジャーで三重の自然を守るプロジェクト

世界遺産熊野川の被災地復興支援と

三反帆(川舟)乗船体験

「美し国おこし・三重」では、人と自然の絆づくりを目指し、「海の命・森の命」をテーマにプロジェクトを展開しています。

そのひとつである「ソーシャルレジャーで三重の自然を守ろうプロジェクト」では、来年1月までの間、ボランティアとレジャーを組み合わせ、楽しく活動するプロジェクトをモデル的に実施しています。

熊野川体感塾ではこの「ソーシャルレジャー」の取り組みとして、台風12号によって被害を受けた、浅里地区の復興支援活動や熊野古道・熊野川河川敷の清掃と、



「三反帆」の乗船体験を行います。ぜひご参加ください。

開催日時 12月10日(土)
午前10時～午後2時30分
(雨天の場合は中止)
集合時間 午前9時40分
飛雪の滝キャンプ場駐車場
※現地へはできるかぎり乗り合わせでお越しください。
その場合は、紀宝町役場駐車場をご利用ください。
募集人数 30名
内容 紀宝町浅里地区の公共施設・河川等の清掃・整備、熊野古道(宣旨帰り周辺)、熊野川河川敷(乗船場周辺)の清掃・整備活動。
三反帆乗船体験(川丈街道被害状況確認)
参加料金 1人4,500円(昼食・Tシャツ代込み)
申込締切 12月7日(水)まで
申込先 熊野川体感塾(☎21-0314)
▼詳しくは「美し国おこし・三重」実行委員会熊野地域事務所(☎0597-8916174)までお問い合わせください。

お住まいの近くで、役場業務が利用できます

移動支所をご利用ください

表① 12月の移動支所開設日程

	開設日	会場	開設時間
月曜日	5日	桐原生活改善センター	9:00~10:15
	12日	平尾井高齢者生産活動センター	10:30~11:45
	19日	大里多目的集会施設	13:30~14:45
	26日	上野農事集会所	15:00~16:15
火曜日	6日	浅里生活改善センター	9:00~10:15
	13日	北桧杖多目的集会施設	10:30~11:45
	20日	中村多目的集会施設	13:30~14:45
	27日		
水曜日	7日	阪松原生活改善センター	9:00~10:15
	14日	永田青年クラブ	10:30~11:45
	21日	井田公民館	13:30~14:45
	28日	地下集会所	15:00~16:15
木曜日	1日	上地多目的集会施設	9:00~10:15
	8日	下地生活改善センター	10:30~11:45
	15日	茶屋地構造改善センター	13:30~14:45
	22日	下り場集落センター	15:00~16:15
金曜日	2日	高岡老人憩の家	9:00~10:15
	9日	鮎田構造改善センター	10:30~11:45

町内17か所で開設しています

住民票の発行業務などを郵便局に委託するとともに、さらなる住民サービスの充実を図るため、町職員が町内17か所に出向いて、移動支所を開設しています。(表①移動支所開設日程をご覧ください。)

お住まいの近くで、役場業務が利用できますので、ぜひご利用ください。

移動支所の業務内容

住民票、印鑑証明、納税証明書などの申請受付事務(交付は後ほど、郵送か職員が直接お届けします)や、町税、国民健康保険税の収納事務、役場への各種届け出事務などを受け付けます。

▼詳しくは、役場税務住民課(☎33-0337)までお問い合わせください。

今月のテーマ

撤去費補助などで事業を推進

単独からの入れ替えの場合撤去費に9万円の補助

単独処理浄化槽を設置している世帯では、トイレの水洗化が済んでいることや、合併処理浄化槽に切り替えるには、すでに設置済みの単独処理浄化槽の撤去費用がかかるなどの理由から、なかなか設置替えが進まないのが現状です。

紀宝町営浄化槽整備推進事業では、単独処理浄化槽からの設置替えをより促進したいことから、設置替えを行っていただく

表① 浄化槽設置にかかる分担金の額

浄化槽の種別	分担金の額
5人槽	165,500円
7人槽	208,340円
10人槽	276,800円
11人槽以上	環境衛生課までお問い合わせください

※分担金には、7条検査費用8,000円が含まれています。

同事業によるの浄化槽設置では、表①の設置にかかる分担金を負担いただくこと、浄化槽本体の設置が可能となります。

なお、台所や風呂、洗面所などから浄化槽までの流入管工事については、申請者の負担となります。

同事業による浄化槽設置では、個人設置に補助金を交付していたときと比べると、個人の負担額は軽減されていますので、ぜひ、浄化槽の入れ替えをご検討ください。

▼詳しくは、役場環境衛生課(☎33-0338)までお問い合わせください。

図書館だより

今月のおススメ



かきょう
家郷のガラス絵
出雲の子ども時代
長谷川摂子 / 著 未来社

今年 10 月ご逝去された長谷川摂子さんの貧しくも豊かだった子ども時代の思い出などを綴ったすてきなエッセイ。



くっく くっく
長谷川摂子 / 文 小川忠博 / 写真
福音館書店

長谷川摂子さんならではの、とってもリズムカルな文章に赤ちゃんもにっこり。楽しさいっぱいの写真絵本。



ちんろろきしし
元永定正 / 著
福音館書店

今年 10 月にご逝去された日本を代表するモダンアート作家であり、伊賀上野出身の元永定正さんの美しく不思議な本。



ココロのヒカリ
谷川俊太郎 / 文 元永定正 / 絵
文研出版

「一寸先は闇ではなく光」と仰った元永さんと詩人の谷川さんのゴールデンコンビが紡ぎだす光あふれる絵本。

◆年末年始の休館のお知らせ◆

年末年始の休館日は、12 月 26 日（月）から 1 月 4 日（水）までで、休館中の本の返却は、玄関左横のブックポストをご利用ください。なお、ブックポストに入りきらない場合は、恐れ入りますがお持ち帰りくださいますようお願いします。

《今月のおはなし会》

スペシャルおはなし会 12 月 24 日（土）

0 歳 児：午前 10 時～10 時 30 分
1 歳 以上：午前 11 時～11 時 30 分
3 歳～小学生：午後 1 時 30 分～3 時
事前の申し込みは必要ありませんので、当日図書館へお越しください。多数のご来場お待ちしております。

◆鴛殿図書館（☎32-4646）
◆利用時間：午前9時30分～午後6時
◆休 館 日：毎週月曜日・祝日・毎月最終木曜日

今月のテーマは
「長谷川摂子さんと
元永定正さん」です♪



消費者トラブルに負けないぞ！！



今月のテーマ

～災害を口実にした悪質商法に注意！～

今月も災害に関する悪質商法を紹介します。台風や地震などの災害の後には、災害に便乗した悪質商法が横行します。色々な手口を知り、冷静な判断をするようにしてください。

● 災害に便乗した太陽光発電の訪問販売にご注意！

災害後、「停電に強い太陽光発電を設置してはどうか」など災害に便乗した訪問販売が横行します。業者は、発電量、売金額などの見込みについて、消費者に有利なことばかり強調するセールストークで勧誘してきます。

【注意！】補助金の有無や補助金を受けることができる条件、発電量や売金額の目安、必要な諸費用・設備等は、自分でも情報収集を心がけ、業者の説明に問題がないか確認することが大切です。また、購入を検討する場合は、複数の業者から見積りを取るなどして比較検討し、十分納得した上で契約しましょう。

● 災害を口実に訪問する金の買い取りサービスにご注意！

「不要な貴金属を売ってほしい」「売却代金を義援金の一部とするので貴金属を売ってほしい」などの相談が多く発生しています。実際に、町内でも貴金属買い取り業者が訪問していたとの情報があります。

【注意！】不意に業者の訪問を受けても、買い取ってもらうつもりがなければ、きっぱりと断ることが大切です。買い取りを断っても業者に居座られたり、買い取りを強く迫られて怖い思いをしたときには、警察に連絡してください。いったん業者に渡った貴金属を取り戻すことは大変困難です。

◆三重県消費生活センター

☎059-228-2212 【平日・日曜日】午前9時から午後4時まで

▶詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

紀宝警察署からのお知らせ

年末の交通安全県民運動

【実施期間】 12 月 11 日（日）～12 月 20 日（火）

【運動の重点】

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動

【実施期間】 10 月 1 日（土）～12 月 31 日（土）

【推進事項】

- 夕暮れ時の早めのライト点灯（自動車、二輪車、自転車利用者）
- 反射材の着用推進（歩行者、自転車利用者）

紀宝警察署（☎33-0110）

ごみは資源のコーナー

ごみカレンダーの再配布について

台風 12 号の影響により、家屋が浸水し、ごみカレンダーを紛失された世帯に対し、カレンダーの再配布を行っています。ご希望の方は、役場環境衛生課までご連絡ください。



ワンポイント

環境衛生課までご連絡いただきましたら、ご自宅まで配布させていただきます。

役場環境衛生課（☎33-0338）

広報クイズ

抽選で特産品が当たります！

◆問題

- ①特集：後世へとつなぐ〇〇
- ②被災に関する各種〇〇等について
- ③〇〇〇〇手当の新しい制度が始まります
- ④鴛殿図書館が〇〇科学大臣表彰受賞！
- ⑤ 2000km を渡るチョウ 〇〇〇マダラ

◆応募資格 紀宝町内に在住の方

◆応募方法 ハガキかメール（koho@town.kiho.lg.jp）

で、クイズの答え 5 問分（○の中に入る数字や文字）と、住所、氏名、年齢、電話番号、町や「広報きほう」についてのひと言を書いて、役場企画調整課広報係（〒519-5701 紀宝町鴛殿 324）まで応募してください。正解者の中から、抽選で 5 名の方に、右写真の「町の特産品」をお贈りします。

◆締め切り

12 月 15 日（木）必着
※当選者は、来月号のこのコーナーで。

■ 11 月号の正解

①支援 ②津波 ③ 57 ④粗大 ⑤笑顔

■ 11 月号当選者

（応募総数 13 通・正解者 13 人 賞品は「温州みかん」）
福田美知子さん（鮎田）、下地民枝さん（成川）
森 妙子さん（成川）
岡鼻瑞江さん（鴛殿）
木和田久子さん（鴛殿）

▶詳しくは、役場企画調整課広報係（☎33-0334）までお問い合わせください。



12 月号の当選者へは
マイヤーレモン



koho@town.kiho.lg.jp

今月のお料理

ぽかぽか和風の 「白菜シチュー」

今月は、冬が旬の白菜を使った料理をご紹介します。和風料理ではお馴染みの白菜ですが、意外にもシチューにとても合います。

白菜は約95%が水分で、カリウムやビタミンC、食物繊維を含み、低エネルギーです。また、加熱すると水分が出て、かさが減るので、たくさん食べることができます。豚肉は、牛肉や鶏肉に比べてビタミンB₁が多く含まれており、糖質の代謝を助ける働きがあります。冬の野菜をたくさん食べて、ビタミンを補給し、風邪などひかない丈夫な身体をつくりましょう！

【材料（5皿分）】

豚肉（薄切り）	150g
白菜	5枚
人参	1本
サラダ油	小さじ1
牛乳	100cc
クリームシチューのルウ	5皿分

【作り方】

- ①人参は半月切りか輪切りで、5mmの厚さに切る。
- ②白菜は縦半分に切り、2cm幅のそぎ切りにする。
- ③鍋に油を熱し、食べやすい大きさに切った肉を炒め、①を加えて炒める。
- ④③に水を加え（水量はルウの箱の表示通り）、ひと煮立ちしたら②を加えてさらに煮込み、ルウと牛乳を加えたらできあがり。お好みでパセリを散らす。

シチューで温まろう♪

エネルギー（1人分）：約217kcal
塩分：約1.6g



今月のテーマ

災害を体験した子どものストレスとケア

災害によって、心理的なストレスや環境の変化から、大人でもこころやかからだの不調が現れることがあります。特に子どもの場合は身体症状や日頃は見られない行動として、大人と違った形で現れることがあります。また、年齢によって現れ方が違います。

《子どもに現れやすいストレス反応》

- 寝付きが悪くなったり、何度も目を覚ましたり、いやな夢をみたりする。
- 頭痛や脱力感があったり、吐き気などをもちやすくなることがある。
- 喘息や皮膚炎などのアレルギー症状がでたり、風邪をひきやすくなることがある。

◆幼児期

あかちゃん返りが起こりやすくなります。

- 以前よりよく甘える
- お母さんから離れることができない

◆少年期

自分の気持ちをうまく表現することができません。

- イライラしたり無気力になる
- 引きこもったり以前に比べ粗暴になったりする
- どことなく元気がない、落ち着きがない

◆思春期

この時期の子どもたちは大人に似た気持ちの変化を経験します。ただ、その気持ちは、孤立、人間不信、落ち込み、不登校、いじめられ、粗暴な行動、夜間外出、暴走、非行など、この年代特有のかたちで表現されます。

左記のような身体や心の変化は、決して驚くような反応ではありません。正常な反応であり、ほとんどの変化は時間とともに回復していきます。

《日常生活では、次のことを心がけましょう》

- なんらかの身体の不調は、医師に診せることが最優先です。
- できるだけ一緒にいる時間を増やして、そばにいてあげましょう。
- できるだけ生活リズムを崩さないようにしましょう。
- 子どもが話すことは、否定せずに聞いてあげましょう。ただし、話したくないときは無理に聞きださないようにしましょう。
- スキンシップを増やしましょう。

こういった対応は、少なくとも2・3か月間から半年間、また必要に応じてそれ以降も繰り返して続けてください。症状が長引いたり、気になる症状があるようでしたら、まず家族が、医療機関あるいは保健センター（☎32-3700）にご相談ください。

今月は
岩中千尋保健師



12月の健康カレンダー

子どもとお母さん（会場 紀宝町保健センター）

日	内容と開催時間
20日	すくすく育児相談（午前9時30分～11時30分） ※要予約：ご希望の方は、保健センターまで。
16日	のびのびキッズ広場（午前10時～11時30分） ※午前9時30分開放、午前10時までにお越しください。 ※持ち物：お茶 参加費：子ども一人50円

リフレッシュ教室（音楽療法と簡単な調理実習）

日	会場と開催時間
7日	福祉センター（鶴殿）（午前10時～正午）

※持ち物：エプロン、三角巾、水分補給のお茶

※要予約：詳しくは、保健センター（☎32-3700）まで。

12月の休日当番医

日	病 院 名	内科・外科
4日	山口クリニック	☎(31)8052 外 科
11日	玉置整形外科	☎(22)6172 外 科
18日	井畑医院	☎(31)7029 内 科
23日	米良医院	☎(22)2710 内 科
25日	佐野内科	☎(28)3266 内 科
日・祝	紀南医師会 応急診療所	☎0597(88)1001 内 科

年末年始救急当直医

日	病 院 名	内科・外科
12/30	米良クリニック	☎(21)7878 外 科
12/31	湊口医院	☎(31)6660 内 科
1/1	湊口クリニック	☎(21)3710 内 科
1/2	池口内科	☎(21)6678 内 科
1/3	生駒呼吸器科	☎(21)5955 外 科

※変更する場合がありますので、確認のうえ受診してください。

※診療科目が異なる場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター（☎0597-89-1199）にご相談ください。

今月のテーマ

口の中を清潔にして肺炎予防

被災によるストレスや、避難所生活での偏った食事により、体重が減少し、口腔内も痩せて入れ歯が合わなくなることがあります。

合わない入れ歯を使っていると、食べカスや歯垢が多く停滞してしまうだけでなく、歯ぐきや粘膜を傷をつけたり、口内炎も起こしやすくなりま

す。また、「食べづらさ」による栄養低下や、「飲みづらさ」による水分不足で、全身の状態が悪化しやすい傾向があります。

入れ歯が合わない方は、できるだけ速やかに、歯科を受診し、入れ歯の調整や作成をしてもらうようにしましょう。

歯を大切に
しましょう♪





相野谷小学校

01. ダンス「タマシイレポリューション」では「がんばろう相野谷 心はひとつ!」とメッセージを掲げ、みんなの決意を表しました。(4・5・6年生) 02. 大玉ドスコイ。(1・2・3年生) 03. うず潮。(4・5・6年生) 04. 応援にも力が入りました。05. 一般競技では、顔を真っ白にして、アメを取りました。06. 徒競走。(3年生)

Town topics
10
30



相野谷保育所

01・05. おまつり忍者。02. かけっこ。03. 笑顔があふれていました。04. ハチマキ姿がとってもかわいい、おまつり忍者。



Sports Festival

運動会

神内小学校と相野谷小学校、相野谷保育所は10月30日、台風12号の影響により約1か月延期していた運動会を開催しました。途中から雨に見舞われ、予定を変更しながらの開催となりましたが、児童たちは雨にも負けず、元気いっぱいに競技などを披露しました。

福祉の店「アプローチ」がオープン!

鵜殿地区で、紀宝町社会福祉協議会が運営する福祉の店「アプローチ」のオープニングセレモニーが11月3日、同店で行われ、開店すると店内は大勢の地域住民でにぎわいを見せました。

J A 三重南紀が運営していたAコープ鵜殿店を同社協が引き継ぎリニューアルしたもので、自立支援法就労継続支援(B型)事業所として、障がい者を雇用し、店内にはたまり場となるスペースを設置するなどして、新たなスタートを切りました。



01. 多くの人で賑わいを見せる店内。02. 開店祝いのテープカット。

Town topics

11
3

鵜殿図書館が文部科学大臣表彰受賞!

紀宝町立鵜殿図書館はこのほど、「平成23年度子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けました。

これは、開館直後から続いている絵本の読み聞かせや、近隣市町に先駆けて始めたブックスタート、ボランティアの養成講座などの子どもの読書推進活動が評価され、今回の表彰となりました。

同館は、近年では福祉関係部局との連携も深め、子育て支援に関する各種行事にも積極的に取り組んでいます。



子どもの読書推進活動をされている鵜殿図書館のみなさん

Kids No.70

はしゃぎっ子



うしろ りゅうのすけ
宇城 龍之介くん（鮎田）

平成20年12月18日生まれ
充洋さん＆千春さんの長男

歌と仮面ライダーが大好きな龍之介。大きな声でいろんな歌を歌ってくれます。十八番は初代仮面ライダーのテーマソング!! これからもいっぱい歌って聞かせてね♪お姉ちゃんと仲良く、元気で思いやりのある子に育ってね。…お母さんから



ふるかわ りくま
古川 璃玖磨くん（鵜殿）

平成20年12月25日生まれ
哲也さん＆麻里さんの長男

こんにちは、りくまデス。まだ保育園に行っていないので、毎日公園に行ったり、大好きなトーマスやカーズのおもちゃで遊んでいます。お姉ちゃんと毎日のようにケンカするけど、いつまでも仲良く、元気に育ってね。…お母さんから



せんば やまと
仙波 大和くん（井田）

平成20年12月24日生まれ
卓男さん＆あゆみさんの長男

こんにちは、大和です。今はまっているのは、保育園で覚えた歌を家族の前で披露することです。ちょっと音程が外れていて歌詞も違うような？（笑）良いムードメーカーです。これからも弟を仲良く遊んであげてね。…お母さんから

満3歳の誕生日を迎える子ども（平成21年2・3月生まれ）を募集しています。ご希望の方は、広報係（☎33-0334）までご連絡ください。申込期限は12月28日（水）まで。

Young No.70

若い衆登場



◆**お仕事は？**
新宮信用金庫緑ヶ丘支店に勤務しています。働き出して8か月なので、まだわからないことばかりですが、早く先輩のように仕事ができるようになりたいです。

◆**趣味は？**
ドライブが好きです。このあたりは海がきれいなので、海を見ながら海岸線を走るのが好きですね。

◆**旅に行くとしたら**
グアムとか海がきれいなところに行きたいです。そして、魚とか

◆**夢は？**
スキューバダイビングのライセンスをとりたいです。

◆**町の好きなところ**
台風で断水した時に、近所の人たちが水を分けあって助け合っていました。そういうやさしい地域であるところが好きです。

災害時、地域のやさしさに触れました

橋詰 更紗 さん（鵜殿・23歳）

サンゴを見たいので、スキューバダイビングがしたいです。

◆**理想のタイプは？**

アクティブで、自分まで明るくしてくれるような、元気な人が好きです。

Penrelay No.70

ペンリレー



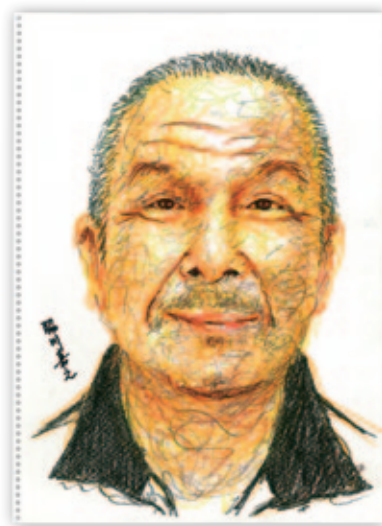
昭和35年。紀州製紙に入社したのは19歳になる春3月でした。就職して何が恐怖かという、職場の忘年会で、当時はカラオケなどはないので「手拍子よろしく！はいお次の番だよ」と回ってくる歌でした。幼少より音痴の嘉之で通ってたものから、「いや」と逃げ回っても怖い先輩ににらまれてしまい、辛い思いで歌いました。他

人は笑って済ませることも、私は真剣で、会社を辞めたいとも考えました。そんな辛い思いの3回目の忘年会で、ある同僚が歌の代わりに安来節（どじょうすくい）を踊ったのを見て、「これや！これで歌わなくて済む！」となりふり構わず習い事を始めました。歌から解放されるとはいえ、踊りも緊張の極みで、涙あり笑

PROFILE

わきかわ よしゆき さん

ビデオカメラが趣味で、お孫さんのDVDを100本以上撮りためているという脇川さん。「孫の動画は、10年後、100年後へメッセージのつもりで撮っています♪」と話していました。



それぞれの個性をもって表現し、その中で、わしよりも上手な表現があればそれを習う。お互いに勉強である」と。「他人にものを教えるということは、人間を教えることなのか」と未だにこの心構えを忘れずにいます。

平成16年に妻に先立たれ、一人暮らしですが、4人の孫に追われ、文句の言わないビデオカメラと格闘中です。それと昨年末まで5年半の間、民生委員の仕事させていただいたことは、基本的に人なかが苦手な私には、よい勉強になりました。

1月は井田の山田十司さんです。脇川さんからは、「民生委員長として、いろいろご指導いただきました。これからの活躍を期待しています。」

いありの連続でした。みなさんは踊りの師匠といえは女の人を思い浮かべるでしょうが、私の場合は水戸黄門役の西村晃さんによく似た男の先生でした。歌舞伎舞踊を修行された岡山県出身の方で、私も欲が出て安来節から長唄舞踊へとかわり、先生から厳しく仕込まれました。縄跳び、うさぎ跳び、石段あがりと体力づくりから始まりましたが、今振り返ってもその技量は武道で言えば、初段程度のものでしょうか。厳しくも楽しい稽古の合間でたまに先生と飲むお酒。ここで夜の更けるのも忘れ舞踊談義、人生談義をとくと聞きました。その中で最も印象に残っている会話は、「わしは、弟子に踊りの順序を教えるが、表現は習う人



お知らせ
メール便

mail information

12月号

町の人口 - population -

平成23年10月末現在（前月比）	
人口	12,045（-28）
男	5,668（-17）
女	6,377（-11）
世帯	5,453（-10）

主な電話番号 - telephone -

役 場 総 務 課	(33) 0333
役場企画調整課	(33) 0334
役場総務課（防災対策）	(33) 0335
役場産業建設課	(33) 0336
役 場 住 民 課	(33) 0337
役場環境衛生課	(33) 0338
役 場 福 祉 課	(33) 0339
役 場 出 納 室	(33) 0340
教 育 委 員 会	(33) 0341
議 会 事 務 局	(33) 0342
役場環境衛生課（水道）	(33) 0343
地域包括支援センター	(33) 0175
保健センター	(32) 3700
相野谷診療所	(34) 0011
鵜 殿 図 書 館	(32) 4646
ま な び の 郷	(32) 0241
神内福祉センター	(32) 2023
鵜殿福祉センター	(32) 0957
宝 寿 園	(21) 0903
亀 楽 苑	(32) 1055
防災行政無線（フリーダイヤル）	0120-334-119

おかけ間違えないように！



「こころの健康相談」
の開催について

熊野保健福祉事務所は、
こころに悩みをもつ人身、およびこころの病気が
疑われる本人に自覚がない
ため対応に苦慮している家
族などを支援する目的で、
次のとおり精神科医師によ
るこころの健康相談を開催
します。

日時 1月21日(土)

午後1時から午後5時まで
場所 役場1階相談室

内容 熊野病院 福田衆一
院長による「こころの健康
相談」（無料）

対象者 こころに悩みをも
つ人およびその家族など
申込方法 熊野保健福祉事

務所へ、平成24年1月6日
（金）までに予約してください
▼詳しくは、熊野保健福祉
事務所（☎0597-89-
6115）までお問い合わせ
ください。

「議会だより」発
行延期のお知らせ

12月1日発行予定の議会
だより（9月定例会の内
容）は、台風12号の影響に
より発行を延期させていた
だきます。次回の議会だよ
りで、9月と12月の定例会
の内容を合わせて掲載させ
ていただきます。

なお、9月定例会の様子
は、インターネット議会で
継（録画）でご覧いただけ

◆勤務開始日など詳しく
は、町教育委員会（☎33-
0341）までお問い合わせ
ください。

「e-Tax」を
ご利用ください

◆e-Taxとは？

国税庁が運営する国税電
子申告・納税システムの通
称です。所得税・法人税・
消費税といった国税の申
告、納税、および青色申告
の承認申請などをインター
ネットを利用して行うこと
ができます。

◆e-Taxを利用するた
めには、原則「電子証明
書」が必要になります。

個人向けの電子証明書
は、地方公共団体による「公
的個人認証サービス」にて
発行されています。住民票
のある市区町村の窓口で住
民基本台帳カード（住基
カード）を入手し、申請書
等を提出して電子証明書の
発行を受けてください。（発
行手数料は住基カード、電
子証明書とも、それぞれ5
00円が必要です。）

ます。ぜひご利用ください。
インターネット中継視聴方法
①紀宝町オフィシャルサイ
トを開く②町議会情報を
クリック③インターネット
ト議会で中継をクリック
▼詳しくは、議会事務局（☎
33-0342）までお問い
合わせください。

まどぐち国民年金

年金額が上乗せされる
付加保険料

○付加保険料とは
平成23年度の老齢基礎
年金の年金額は、40年間
保険料を納めた場合の満
額で788,900円で

◆住基カードおよび電子証
明書の取得はお早めに！

住基カードは、申請いた
だいたその日に発行できま
せん。お手元に届くまでに
約2～3週間かかります。
さらに、確定申告時期は、
発行するまでに3週間以上
かかる場合があります。確定申
告期限までに発行できない
ことも考えられます。住基
カードなどの取得はお早め
にお願いします。

▼詳しくは、役場税務住民
課（☎33-0337）まで
お問い合わせください。

人権擁護委員に
ご相談ください

第63回人権週間
12月4日(日)～10日(土)

隣近所のもめごと、家庭
内の問題（夫婦、親子、相
続等）、いじめや体罰、職
場でのセクハラ等でお悩
みの方は、人権擁護委員、ま
たは相談所へお気軽にご相
談ください。相談は無料
で、秘密は守られます。
・女性の人権を守ろう
・子どもの人権を守ろう

すが、老後により多くの
年金を受けたいと考えて
いる方のために、付加保
険料（月額400円）を
納付する制度があります。
これは、定額保険料とあ
わせて月額15,420
円を納付期限までに納付
することで、付加年金が
老齢基礎年金に上乗せさ
れて支給されます。

○付加年金の額は（支給額）
「200円×付加保険料
の納付月数」で計算され、
年金を2年以上受給する
と、支払った付加保険料
以上の付加年金が支給さ
れます。

▼詳しくは、税務住民課
国民年金係（☎33-03
37）までお問い合わせく

・人身取引をなくそう
・犯罪被害者とその家族の
人権に配慮しよう
・ホームレスに対する偏見
をなくそう など…

人権擁護委員

・前地 幸久さん（井田）
・大岡 春雄さん（鵜殿）
・奥地 義郎さん（成川）
・寺本 紀美代さん（鵜殿）
・有城 安子さん（井内）

▼詳しくは、津地方法務局
熊野支局（☎0597-85
-2310）または、役場
福祉課（☎33-0339）
までお問い合わせくださ
い。

新成人を迎える方
へのお知らせ

平成24年成人式を、1月
2日(月)午前10時30分から紀
宝町生涯学習センターまな
びの郷で行います。
新成人として、人生の一
歩を踏み出す方は、平成3
年4月2日から平成4年4
月1日生まれの方です。該
当される方で、まだ案内の
届いていない方は、まなび
の郷（☎32-0241）ま
でご連絡ください。

広報きほうへ
広告を掲載しませんか？

町では、「広報きほう」のこの位置に有料広告を掲載しています。
ぜひ、みなさんの会社やお店の宣伝にご活用ください。

広報きほう	
大きさ	1枠 縦45mm×横86mm
掲載料	1枠につき月額で、
	町内事業者 7,000円 町外事業者 10,000円

詳しくは、
紀宝町役場企画調整課
☎33-0334まで
お問い合わせください。

紀宝町下水道サービス株式会社



浄化槽のご相談は
フリーダイヤル
0120-620-690

紀宝町鵜殿1375番地1
TEL：0735-33-0360（代）
FAX：0735-33-0365
HP：http://www.pfi-kiho.jp/

献血
ご協力ください

17歳から69歳までの健康
なあなたのご協力をおねが
いします。（ただし、65歳
以上の方は、60～64歳まで
に一度献血したことがある
方のみとなります。）

血液は、人工的に造ること
も長い期間保存すること
もできません。
輸血に必要な血液をいつ

ださい。

12月の尾鷲社会保険事
務所の職員による年金相
談は、12月21日(水)午前10
時から午後2時まで、役
場2階大会議室で行いま
すので、ご利用ください。



写真提供：山口和洋さん

紀宝の 珍百景 見つけた! その23

浪漫を乗せて
2000km を渡るチョウ

アサギマダラ

今回の珍百景は、はるばる海を越えて、紀宝町へも飛来する「アサギマダラ」をご紹介します。

アサギマダラは、タテハチョウ科マダラチョウ亜科に属し、前羽が4〜6cmほどで、羽を広げると10cm前後ある大きなチョウです。また、その最大の特徴は、春には北上し、秋には南下を繰り返す「渡り」をすることです。過去には、山形県でマーカーキングしたチョウが与那国島の山頂で見つかったことが記録されています。その距離は、直線距離にしてなんと、2246km。

チョウについて詳しい、成川地区の山口和洋さんにお話を伺うと、紀伊半島では、10月中旬から11月にかけて見ることができ、紀宝町では、桐原から浅里地区にかけての林道や、井田のハセデ池周辺でよく確認されているとのこと。紀伊半島周辺の移動ルートは左地図のとおりで、和歌山県御坊市の西山地区で特に多く、1日で500頭も確認される時があるそうです。西山にいったん集結し、そこから四国地方や南の海に向かって飛んでいくものが多いとか。

現在でも、アサギマダラがなぜ「渡り」をするのかなど、はっきりとはわかっていないことがまだまだたくさんあります。その謎めいたところに、とても浪漫を感じますね。

アサギマダラの紀伊半島周辺の移動ルート



和歌山県御坊市の西山地区には多くのアサギマダラが集結する。1日で500頭も見られる時も。

ひやうげん

特集を組んで、学んだこと

今月号では、「後世へとつなぐ記録」として、台風12号の特集記事を作成させていただきました。

今までに経験したことのないこの大災害を、台風の詳細や災害時の写真だけでなく、住民のみなさんの貴重な経験談を交えながら、いろんな角度から記録に残さなければと思い作成しました。経験したことを教訓とし、風化させず後世へと伝え、今後の防災意識の向上や、防災対策に活かしてもらえたらと思います。

今回取材したなかで、感じたことが2つあります。

1つは、地域力の大切さです。浅里地区や大里地区など、みなさん隣近所にとっても精通していて、地域が一体となり支え合っていると感じました。この地域力はすごく大切なことであり、今回のような災害が発生した時に、いかに発揮されるものだと思います。

もう一つは、人の優しさです。今回紀宝町には、数多くのボランティアの人たちが助けにきてくれました。助けてもらった人たちは、みんな口をそろえて、感謝・感激の気持ちを話されます。ボランティアの人たちの中には、東日本大震災で被災した宮城県からはるばる災害直後に駆けつけてくださった学生のみなさんがいて、こう話してくれました。「災害にあったとき、一番つらいのは被災直後なんです。震災直後のつらい時、僕たちは助けられて、涙が出るほどうれしかった。だから、僕たちもすぐに助けにきました」。僕はとても感動しました。今回、このような感動する話をいたるところで耳にします。

災害が起こり、つらい気持ちの中で、人の優しさや地域の温もりに触れ、人はみんなで支え合って生きていけるものなんだということを、改めて感じました。感謝の気持ちを忘れずに、支え合う共助の精神でいれば、紀宝町だけでなく、日本全体に、明るく楽しい未来が待っているような気がします。

(広報係 竹鼻 康)

